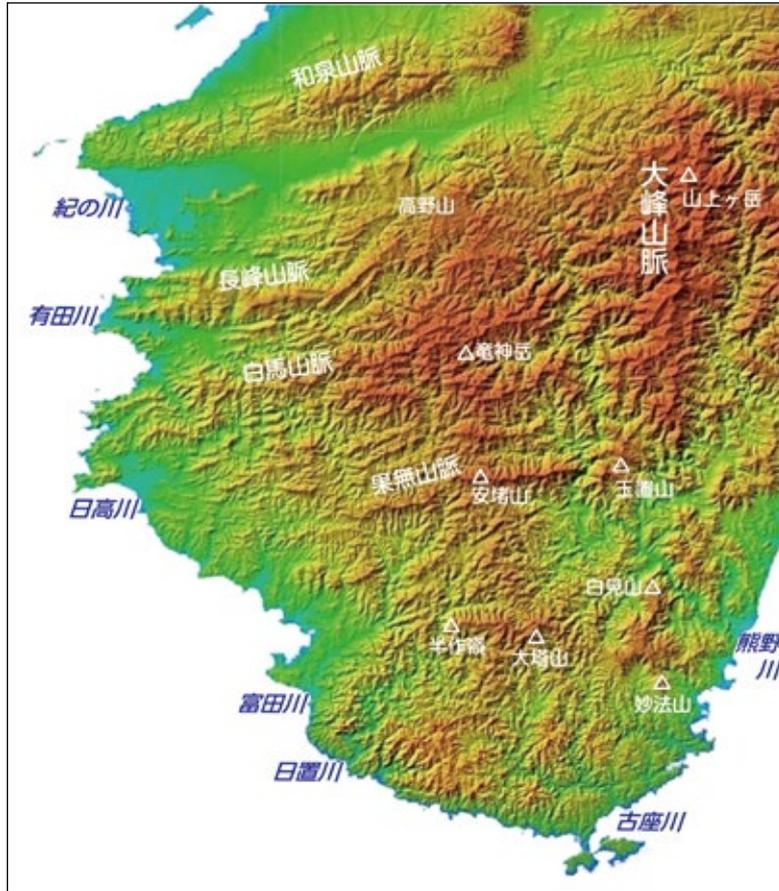


Red Data Book of Wakayama Prefecture

地形の概要

吉松敏隆

紀伊山地は、山上ヶ岳（1,719 m）から八経ヶ岳（1,915 m）、釈迦岳（1,800 m）を経て玉置山（1,077 m）に連なる大峰山脈を軸に、その東側の台高山脈と、その西側で高野山から護摩壇山・龍神岳（1,382 m）、安堵山（1,184 m）に延びる山列からなり、それらはほぼ南北方向に延びる。和歌山県の位置する紀伊半島西部は、高野山から安堵山にかけての南北性の山列と、この山列から東西方向に延びる長峰山脈、白馬山脈、大峰山脈から東西に延びる果無山脈を主体とする。長峰山脈は、三波川変成岩地帯、白馬山脈や果無山脈は四万十付加体の地層からなる。また、南部では近露スラストを境にして、大塔山（1,122 m）や法師山（1,121 m）、入道山（1,010 m）が独立峰的にまとまって存在し、更に大塔山から法師山、百間山（999 m）、半作嶺（894 m）にかけて東西性の山列が見られる。この地域は、牟婁付加シークエンスの合川複向斜や打越背斜部にあたる。



紀伊半島の地形図（国土地理院の色別標高図を使用）

このように、和歌山県内北部には南北性の山脈と、そこから延びる東西性の山脈が見られる。これらの直交する2つの山列は、新生代第四紀以降の太平洋プレートの運動による東西圧縮と、フィリピン海プレートの運動による南北圧縮の応力による。白馬山脈や果無山脈が所々で北西-南東方向の軸をもって屈曲しているのは、南北方向に加えて東西方向の圧縮が紀伊半島に加わっているためと考えられている。峰山（879 m）や妙法山（749 m）から大雲取山（966 m）、白見山（926 m）にかけての山列は、熊野酸性火成岩類の地帯である。

紀の川の北側を東西に走る中央構造線を境にして、その北側にはこの断層運動に伴って隆起した和泉山脈が東西方向に延びる。その標高は、東部の岩湧山の南の909 mを最高峰に、西部の四国山（241 m）に向かって次第に低くなる。

大峰山脈を源流とする紀の川は、和歌山県内ではほぼ中央構造線の南側の沈降域を西流し、紀伊水道へと注ぎ、下流部には県内では最も規模の大きい粉河付近の河岸段丘や和歌山平野を形成する。粉河の河岸段丘は、標高80~90 mの段丘面を持ち、南流する開析谷が発達する。高野山から安堵山にかけての山列を源流とする有田川、日高川等が東西性の山列をぬって紀伊水道へと注ぎ、果無山脈を源流とする富田川、日置川や、大塔山系を源流とする古座川、太田

川が太平洋へと注ぐ。これらいずれの河川も、上・中流部は急流をなし、著しい曲流（穿入蛇行）や環流丘陵が見られるとともに、支谷には多くの滝が形成されている。また、有田川、日高川、富田川等では、中・下流部に河岸段丘、沖積平野が発達する。

有田川の河岸段丘は、有田川町内で標高 60 m、50 m、35 m の段丘面を持ち、下流方向に傾斜する。富田川の河岸段丘は、下鮎川付近では、標高 80 m、70 m、60 m の段丘面、市ノ瀬付近では 60 m、50 m、40 m の段丘面を持ち、いずれも小規模な開析谷が発達する。

大峰山脈の山上ヶ岳を源流とする熊野川は、大峰山脈と高野山から安堵山にかけての山列の間を南へ曲流しながら太平洋へと注ぐ。

海岸段丘は、日高地方以南によく発達し、紀伊半島南端部の潮岬に向かって段丘面の高度が高くなる。串本付近では、段丘面は高・中・低位の 3 段からなり、高位段丘面は標高 100 m 程度であるが、侵食作用による開析が進み、平坦面は尾根筋にわずかに残っている程度である。中位段丘面は標高 50~60 m、低位段丘面は標高 25~30 m で、潮岬に代表されるようによく残っている。日高以南の海岸線には海岸段丘や波食棚、岩石海岸が発達するのに対し、日ノ御崎付近を境にしてその以北にはわずかな波食棚を伴うリアス海岸が発達している。

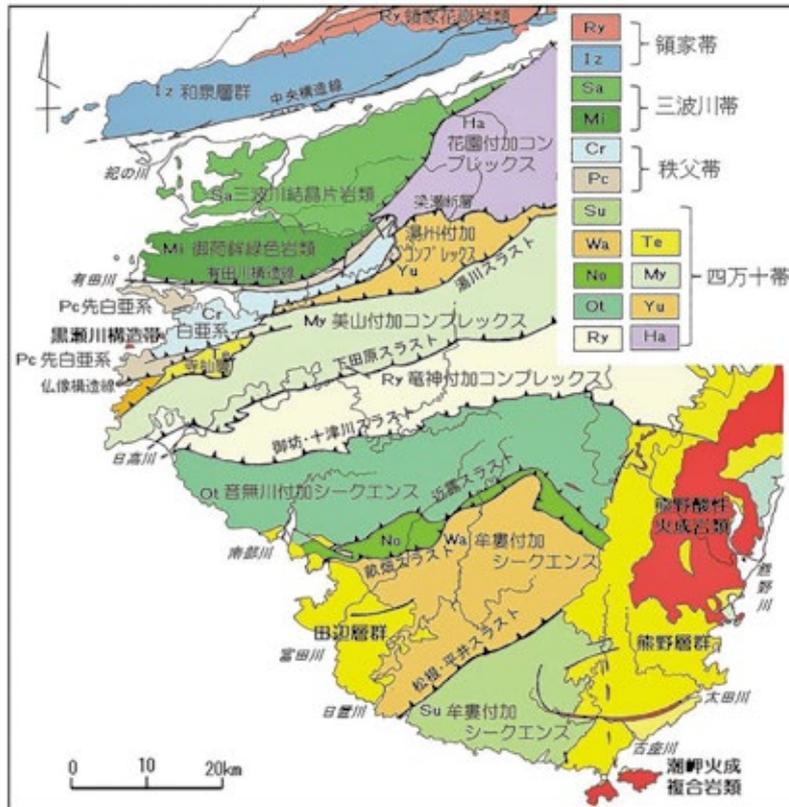
南海トラフに沿って発生する巨大地震の際には、紀伊半島の南端部が隆起し、田辺付近は沈降域になる。また、東南海地震の時には、新宮付近が沈降域になる地殻変動が見られる。

こうした地質や地殻変動の特性を反映して、和歌山県には山地地形及び河川水や海水による侵食地形、堆積地形等が数多く形成され、これらの地形や自然景観は、それぞれの地域のシンボリック存在であり、全国的に広く知られる観光資源等になっている。

地質の概要

吉松敏隆、小泉奈緒子

紀の川の北側をほぼ東西に延びる中央構造線を境にして、その北側には上部白亜系の和泉層群が分布する。和泉層群は、主に砂岩、頁岩、砂岩頁岩互層からなり、凝灰岩層を挟む。本層群は、海底の混濁流によって形成されたタービダイトという地層を主とする主部相と、非タービダイト性の堆積物からなる北縁相及び南縁相に区分されている。主部相は、上方への岩相変化によって、下位より順に加太累層、信達累層、岩出累層、粉河累層に区分され、北縁相は六尾累層、南部相は名手累層と呼ばれる。和泉山脈西部では、向斜軸が東へ傾斜した大規模な向斜構造（地層が谷型に曲げられ、上位の地層が中心部に見られる状態）をなす。



和歌山県内の地質概略図（紀州四万十帯団研 G 編：2012，吉松ほか：1999 等から作成）

中央構造線の南側には、三波川帯が分布し、この地帯を構成する変成岩は、塩基性片岩や砂質片岩、泥質片岩等からなる三波川結晶片岩類、及び主に苦鉄質岩類等からなる弱変成の御荷鉾（みかぶ）緑色岩類に区分され、その南限は有田川構造線である。三波川変成帯の源岩の多くは付加体（海洋プレートの沈み込みによって、陸側に逆断層で付け加わった海底堆積物）の地層で、これらが沈み込み帯で高圧低温型の変成作用を受けてできたと考えられている。

有田川構造線の南側には秩父帯が分布し、その南限は仏像構造線である。秩父帯は、主にジュラ紀の付加体からなる北帯及び南帯、変成岩類や約 4 億年の放射性年代を示す火成岩類、シルル～デボン紀の石灰岩や凝灰岩等からなる黒瀬川構造帯、それらを不整合に覆う白亜系の中帯に区分される。北帯は、主にチャートや緑色岩類、砂岩、泥岩からなる清水層や、主に泥岩や緑色岩類からなる毛原層等に区分されている。南帯は、砂岩、泥岩等の砕せつ岩を主とし、チャート、緑色岩類、石灰岩等のオリストリス（異地性の岩体）が含まれる中紀層群からなり、大引層、由良層、神谷層等に区分されている。

中帯の白亜系は、主に礫岩、砂岩、泥岩及び砂岩泥岩互層等からなり、下部の湯浅層、有田層、西広層、及び上部の外和泉層群（三尾川層、上松原層・北谷層、松原層・井関層、二川層、鳥屋城層）に区分され、各地層からはアンモナイト、イノセラムス等多数の動物化石やシダ、ソテツ類等の植物化石を産出する。近年、湯浅層からカルノサウルス類やスピノサウルスと考えられる恐竜の歯の化石が、鳥屋城層からは海棲は虫類のモササウルスの骨格化石が発見されて

いる。

仏像構造線の南側には、上部白亜系の花園付加コンプレックスからなる高野山帯、湯川・美山・竜神各付加コンプレックス、寺杉層からなる日高川帯、及び第三紀暁新統～中部始新統の音無川付加シークエンス、中部始新統～下部中新統の牟婁付加シークエンスからなる四万十付加体が広く分布する。

日高川帯の地層は、頁岩、砂岩及び砂岩頁岩互層からなる陸源の堆積物に加え、凝灰岩、海洋性のチャートや緑色岩類を伴う。

御坊―十津川スラストの南側には音無川付加シークエンスが分布する。本シークエンスは、泥岩、フリッシュ型砂岩泥岩互層（海底の混濁流による堆積物で、特徴的な級化や内部たい積構造をもつ砂岩、泥岩が交互に重なった地層）、砂岩、礫岩、緑色及び赤色泥岩からなる。海溝充填堆積物である下部の瓜谷層と、海溝付近に形成された海底扇状地堆積物からなる上部の羽六層に区分される。暁新世～前期始新世の堆積物と考えられている。

近露スラストの南側には、牟婁付加シークエンスが分布する。本シークエンスは、海底扇状地堆積物で、フリッシュ型砂岩泥岩互層、泥岩、砂岩及び礫岩からなる。近露スラストと畝畑スラストの間には、中期始新世の野竹構造ユニットが分布し、下位から上三栖層・武住層、西谷層・大瀬層に区分される。畝畑スラストと松根―平井スラストの間には、中期始新世後半～後期始新世の狼岬山構造ユニット・市鹿野構造ユニットが分布し、下位から安川層、打越層、合川層に区分される。それより南は、中期始新世～前期中新世の周参見構造ユニットが分布し、小節川層、佐本川層、田並川層、枯木灘層に区分されている。枯木灘層は、主に含角礫泥岩や泥岩からなり、前者からなる地層は「サラシ首層」と呼ばれ、海底土石流堆積物と考えられている。

南部から日置にかけての地域には、牟婁層群を不整合に覆い、前弧海盆堆積体である第三紀中新統の田辺層群が分布する。本層群は、主に礫岩、泥岩からなる下部の朝来累層、及び砂岩、礫岩、砂岩泥岩互層を主とする上部の白浜累層に区分される。後者の地層には、浅海性を示す堆積構造や生痕化石が多く見られる。また、本層群中には、含礫泥岩からなるダイアピル（地下の物質が割れ目にそって上昇し、上の岩相を押し上げてできたドーム状の構造）及び泥岩岩脈が見られ、その形成は弧状岩脈の貫入と関係が深いと考えられる。

串本から那智勝浦、本宮にかけての地域には、牟婁層群を不整合に覆う第三紀中新統の熊野層群が分布する。本層群は、主に礫岩、砂岩、泥岩、砂岩泥岩互層からなり、岩相により下位から順に下里累層（大沼累層）、敷屋累層（小口累層）、三津野累層に区分される。本層群は、田辺層群とほぼ同じ時代の前弧海盆堆積体であるが、陸域からの位置が異なると考えられる。

潮岬や紀伊大島には、中期中新世の噴出岩及び貫入岩からなる潮岬火成複合岩類が分布する。この岩体は、枕状溶岩を含む玄武岩質溶岩や斑糲岩等の苦鉄質岩類や流紋岩類、グラノフィア一等の珪長質岩類からなり、組成的な多様性が特徴である。潮岬火成複合岩類の活動の初期には、流紋岩質火砕岩を形成した珪長質マグマの噴出があり、その後、しそ輝石流紋岩の貫入、潮岬ではこれに玄武岩類、グラノフィア、石英斑岩等の活動が続いた。潮岬に見られる斑糲岩類は、ブロックとして玄武岩類に伴われたと考えられている。

那智勝浦から三重県尾鷲にかけては、熊野酸性火成岩類が分布し、神ノ木流紋岩、流紋岩質火砕岩、流紋岩（花崗斑岩）に区分されている。中期中新世の時代、長径が40 kmにもおよぶ巨大な熊野カルデラが形成される火山活動があった。先に神ノ木流紋岩の活動があり、その後大量の流紋岩質火砕岩が噴出、更にカルデラ内部の流紋岩質火砕岩に地下のマグマだまりから流紋岩（花崗斑岩）が貫入し、それがゆっくり冷え固まってラコリス（餅盤）を形成した。これらの火山活動に伴って、古座川弧状岩脈は弧状断層に沿う火道から流紋岩質火砕岩と流紋岩（花崗斑岩）が噴出してできたと考えられている。

また、この後期中新世の火山活動に伴い、熊野酸性岩類の周縁部に、妙法鉾山に代表される銅を主とする金属鉱床が形成された。更に、那智勝浦や湯の峰、川湯、渡瀬、白浜等の高温泉も、これらの火成活動に関連していると考えられている。

紀南地域には、橋杭岩のように南北に直線上に延びる流紋岩質の岩脈群が見られる。また、これらの南北性の岩脈群や大峯花崗岩類と密接に関連し、四村川上流から古座川上流にかけての八丁瀬変質帯と呼ばれる南北性の熱水変質帯が形成されている。

和歌山県では、このように古生代シルル紀から新生代第四紀までの約4億年にわたる地層・岩石が分布し、各時代における様々な地層の堆積や地殻変動、火成活動の痕跡をとどめ、学術的に貴重なものも数多く見られる。そして、それらが和歌山県内各地域の特有な地形や自然環境を醸し出している。

地形の選定結果

● カテゴリー：A ランク

001 那智大滝

● カテゴリー：B ランク

002 百間山溪谷

003 清閑瀨

004 煙樹ヶ浜

005 白良浜

006 円月島（高嶋）

007 潮岬

● カテゴリー：C ランク

008 和泉山脈

009 紀伊山地

010 高野山

011 千穂ヶ峰

012 烏帽子山

013 妙法山

014 大雲取山

015 那智山

016 粉河の河成段丘

017 和田川

018 大塔川

019 古座川峡

020 滝の拝

021 皆地のふけ田

022 黒淵

023 千里の浜

024 王子ヶ浜

025 片男波

026 和歌浦・雑賀崎

027 鷹の巣（上人窟）

028 紀伊大島南東部の海食崖

029 九龍島

030 三段洞窟

031 忘帰洞

032 天神崎

033 すさみ海岸（枯木灘）

034 友ヶ島

035 勝浦・湯川海岸

036 深蛇池

037 阿尾湿地

038 湯川ゆかし瀨

039 高森・広角台地

040 紀伊大島の海成段丘

● カテゴリー：D ランク

041 長峰山脈

042 白馬山脈

043 果無山脈

044 葛城山

045 龍門山

046 護摩壇山

047 龍神岳

048 西山

049 高雄山（高尾山）

050 大塔山

051 重畳山

052 生石高原

053 四木山（撞木山）

054 蓬萊山

055 ゴトビキ岩

056 沼池

057 見草の大池・小池

058 八丁平

059 金剛寺の大規模地すべり跡

060 奥番の大規模地すべり跡

061 伏菟野の大規模地すべり跡

- | | | | |
|-----|----------------|-----|--------------|
| 062 | 滝尻の大規模地すべり跡 | 098 | 佐本川溪谷 |
| 063 | 熊野の大規模地すべり跡 | 099 | 北山川 |
| 064 | 玉川峡 | 100 | 小川峡 |
| 065 | 達磨石峡谷 | 101 | 日高川殿原の環流丘陵地形 |
| 066 | 臼谷川溪谷 | 102 | 太田川の環流丘陵地形 |
| 067 | 明恵峡 | 103 | 押回 |
| 068 | 小森谷溪谷 | 104 | 大淵 |
| 069 | 奇絶峡 | 105 | 国主淵 |
| 070 | 救馬溪 | 106 | 庄司ヶ淵 |
| 071 | 安川溪谷 | 107 | 相須ヶ淵 |
| 072 | 前ノ川溪谷 | 108 | 釜滝の甌穴 |
| 073 | 将軍川 | 109 | 鎌滝の甌穴 |
| 074 | 田長谷 | 110 | 奥山の甌穴 |
| 075 | 九里峡 | 111 | 舟岡山（川中島） |
| 076 | 奥山谷 | 112 | 昼嶋 |
| 077 | 七色峡 | 113 | 河内島 |
| 078 | 四ノ川溪谷 | 114 | 五光の滝 |
| 079 | 那智山溪谷 | 115 | 不動滝（手水の滝） |
| 080 | 太田川溪谷 | 116 | 丹生ノ滝 |
| 081 | 平井川溪谷 | 117 | 嵯峨の滝 |
| 082 | 成見川溪谷（成見八丁） | 118 | 文蔵の滝 |
| 083 | 七日ぬめり（滑床） | 119 | 三重の滝 |
| 084 | 黒蔵谷 | 120 | 稚児の滝 |
| 085 | 大杉谷 | 121 | 岩谷権現の滝 |
| 086 | 高田川溪谷 | 122 | 新田の滝 |
| 087 | 有田川の河成段丘 | 123 | 秘文の滝（雄滝・雌滝） |
| 088 | 富田川の河成段丘 | 124 | 裏見の滝 |
| 089 | 押手付近の有田川 | 125 | 不動の滝 |
| 090 | 清水付近の有田川 | 126 | 赤滝 |
| 091 | 安井下流の日高川 | 127 | 金剛の滝 |
| 092 | 五味付近の日高川 | 128 | さがりの滝 |
| 093 | 川原河付近の日高川 | 129 | 銚子の滝 |
| 094 | 高津尾付近の日高川 | 130 | 五段の滝 |
| 095 | 市鹿野下流の日置川 | 131 | 不動の滝 |
| 096 | 下木守から串にかけての前ノ川 | 132 | カガマリの滝 |
| 097 | 上野下流の日置川 | 133 | 油滝 |

- | | | | |
|-----|--------------|-----|----------------|
| 134 | 鮎返の滝 | 170 | 百間の滝 |
| 135 | 七滝 | 171 | 木守の滝 (A, B, C) |
| 136 | 虚空蔵の滝 (黒蔵の滝) | 172 | 夫婦の滝 (A, B) |
| 137 | 次の滝 | 173 | 細尾の滝 |
| 138 | 白馬滝 | 174 | 牛鬼の滝 |
| 139 | 釜中滝 | 175 | 修験ノ滝 |
| 140 | 姥ヶ滝 | 176 | 栗の滝 |
| 141 | 不動ノ滝 (青蛇の滝) | 177 | 琴の滝 |
| 142 | 藤滝 | 178 | 大鎌の大滝 |
| 143 | 衛門嘉門の滝 | 179 | 吐生の滝 (お滝さん) |
| 144 | 越戒の滝 | 180 | 才助滝 |
| 145 | 恋小袖の滝 | 181 | 便田の滝 |
| 146 | 曼陀羅の滝 | 182 | お滝さん |
| 147 | 万歳の滝 | 183 | 平治の滝 |
| 148 | 塔ノ島の滝 | 184 | 神首ノ滝 (滝ノ首) |
| 149 | 白馬の滝 | 185 | 黒蔵滝 |
| 150 | 鷺の川滝 | 186 | カンタロウ滝 |
| 151 | 大滝川御滝 | 187 | 高山谷の滝 |
| 152 | 蛇尾の滝 | 188 | 鮎返滝 |
| 153 | 鈴川の滝 (松瀬の滝) | 189 | 大塔川の鮎辺滝 |
| 154 | 水滝不動滝 | 190 | 大杉谷の滝 |
| 155 | 菱の滝 | 191 | 大塔川上流の滝 |
| 156 | 救馬溪観音お滝 | 192 | 大杉滝 (A、B) |
| 157 | 夫婦ノ滝 (観音滝) | 193 | 逢合滝 |
| 158 | 湯川川の滝 | 194 | 中小屋谷の滝 |
| 159 | 不動ノ滝 | 195 | ヒツボノ滝 |
| 160 | 分嶺ノ滝 | 196 | 雨泊滝 |
| 161 | 牛屋谷のお滝さん | 197 | ながしまの滝 |
| 162 | 八草の滝 | 198 | モミジ滝 |
| 163 | 一の滝 (ドン谷滝) | 199 | 市老滝 (鎌山滝) |
| 164 | 祝の滝 | 200 | 雷の滝 |
| 165 | 西大谷の百間滝 | 201 | 五郎滝 |
| 166 | かやの滝 | 202 | のの滝 |
| 167 | 雨乞の滝 | 203 | ナカ滝 |
| 168 | 地藏の滝 | 204 | ガマ滝 |
| 169 | 犬落ちの滝 | 205 | 宝竜滝 |

- 206 白滝
207 ヘヤ滝
208 鼻白滝
209 仙人滝
210 陰陽滝
211 姫川の滝
212 神水瀑
213 中津谷の滝
214 張尾の滝
215 植魚の滝
216 まぼろしの滝
217 玉ノ谷滝
218 妙呂寺滝
219 大滝 (大桑大滝)
220 白見の滝
221 一つ落ちの滝
222 鳴谷一の滝
223 鳴谷二の滝
224 タキワケの滝 (大越滝)
225 桑ノ木の滝
226 高滝
227 ぶつぶつ川
228 男浦・宮崎鼻・高田海岸
229 日ノ御崎
230 切目崎
231 見草崎
232 江須崎
233 太地海岸
234 城ヶ崎海岸
235 番所の崎
236 千畳敷
237 椿海岸
238 志原千畳敷
239 和深～二色海岸
240 津荷海岸
241 地獄の釜
242 弁天島・お蛇浦
243 蛭取島
244 紀伊大島のタカノ巣礁・舟ゴラ礁
245 荒船海岸
246 塔島洞門
247 潮吹岩
248 二里ヶ浜
249 塩屋海岸
250 扇ヶ浜
251 那智の浜
252 切目浜
253 佐野の浜
254 中大浜 (富田浜)
255 日置大浜
256 太田川河口
257 黒島
258 臨海海岸
259 串本海岸
260 宇久井の浜 (上地ノ浜)
261 西浜
262 鹿島
263 田辺湾

地質の選定結果

● カテゴリー：A ランク

- 01 天鳥の褶曲
- 02 橋杭岩

● カテゴリー：B ランク

- 03 白崎石灰岩
- 04 サラシ首層
- 05 鳥屋城山
- 06 瀨八丁（瀨峡）
- 07 潮岬の火成岩
- 08 古座川の一枚岩
- 09 戎島
- 10 名南風鼻
- 11 市江崎の含礫泥岩ダイヤピル
- 12 田の崎
- 13 白浜温泉
- 14 川湯・湯の峰・渡瀬温泉
- 15 勝浦温泉
- 16 龍神温泉

● カテゴリー：C ランク

- 17 蟾蜍岩（ひき岩群）
- 18 天皇山から白木の海岸
- 19 丸山
- 20 栗栖川亀甲石包含層
- 21 浮島
- 22 泥岩岩脈
- 23 白浜の泥岩岩脈
- 24 弁天島・お蛇浦
- 25 小松の不整合
- 26 根来断層
- 27 勝真山・白山山
- 28 檜野崎
- 29 嶽ノ森山

● カテゴリー：D ランク

- 30 戸津井の鍾乳洞
- 31 保呂の虫喰い岩
- 32 白浜の化石漣痕
- 33 赤滑の漣痕
- 34 御所本の化石漣痕（漣痕岩）
- 35 谷口の石炭層
- 36 大倉岩
- 37 餘倉岩
- 38 茶臼山为天狗巖
- 39 オトノリ
- 40 不動山の巨石（不動岩）
- 41 御衣干岩
- 42 栗生の巖
- 43 乳岩
- 44 円座石
- 45 孔島・鈴島
- 46 門前の大岩
- 47 押分岩
- 48 オン崎
- 49 伴待瀬海岸
- 50 笠石
- 51 狼岩
- 52 押し上げ岩
- 53 夫婦岩（立巖）
- 54 重ね岩
- 55 龍門山の磁石岩
- 56 須江崎
- 57 高池の虫喰い岩
- 58 牡丹岩
- 59 浦神の虫喰い岩
- 60 天柱岩（葉研岩）
- 61 飯盛岩（玉筍峯）
- 62 少女峰

- 63 侍岩
- 64 宇久井半島外の取
- 65 大狗子半島
- 66 坊主岩
- 67 猪岩

- 68 棕呂の火成岩
- 69 高田峡一枚岩
- 70 大越の一枚岩
- 71 釣鐘岩
- 72 清水鉦山跡

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
001	那智大滝	A	侵食地形	滝	那智勝浦町	第三紀中新世の火成活動によって形成された熊野酸性岩類の流紋岩（花崗斑岩）が、比高133mの瀑布をなす。下流側は熊野層群三津野果層の砂岩や泥岩の地層からなり、火成岩と堆積岩の硬軟の違いから、後者が那智川侵食作用によって削られ形成されたものである。	国指定文化財（名勝）、吉野熊野国立公園、日本の滝百選、日本の音風景100選、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66、南紀熊野ジオパークジオサイト
002	百間山渓谷	B	侵食地形	渓谷	田辺市	日置川支流熊野川支谷の渓谷で、主に牟婁帯打越層の礫岩、砂岩、砂岩泥岩互層が分布する。滝、淵等が連続し、河床には流水の侵食作用でできた円形の穴のポットホール（甌穴）も観察できる。渓谷沿いには遊歩道が設けられている。	国指定文化財（名勝・天然）、県立自然公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
003	清閑瀬	B	侵食地形	瀬	新宮市熊野川町	大倉畑山の東麓を北流する小口川の渓谷で、瀬をなす。河岸には、熊野層群小口累層の砂岩泥岩互層ないし成層泥岩が露出する。延長約2.5km。	県立自然環境保全地域
004	煙樹ヶ浜	B	海岸堆積地形	礫浜	美浜町	日高川の河口に形成された円礫の浜で、延長4.5km、幅600mである。暴風時に汀線より一段高い位置にできたストーンベンチや海に向かって三角形形状に突き出したカサブタが観察できる。	県立自然公園、日本の白砂青松百選、和歌山県の朝日・夕陽100選
005	白良浜	B	海岸堆積地形	砂浜	白浜町	北原白秋をして「まこと白きかも」と感嘆せしめた砂浜で、90%を越える石英粒からなる。後背地をなす田辺層群の石英粒の多い砂岩の風化によってできた砂が、ポケットビーチに集積して白良浜が形成された。延長0.5km、幅90m。	日本の渚百選、快水浴場百選、町指定文化財（名勝）、県立自然公園、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選
006	円月島（高嶋）	B	海岸変動地形	島	白浜町	第三紀中新世の田辺層群白浜累層を傾斜不整合で覆う塔島礫岩層からなる。この礫岩は、おもに中～大礫の垂角～亜円礫で、礫の大部分は砂岩である。島の中央部は、海食によって貫通している。	町指定文化財（名勝）、県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
007	潮岬	B	海岸変動地形	海成段丘	串本町	潮岬は、陸けい島をなす。粗粒玄武岩、珪長質半深成岩のグラノファイアー、石英斑岩等からなる潮岬火成複合岩類を基盤岩とし、高位段丘（標高80m）及び低位段丘（40～60m）が発達する。	吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
008	和泉山脈	C	山地地形	山脈・山地	橋本市・かつらぎ町・紀の川市・岩出市・和歌山市	中央構造線の北側に位置し、後期白亜紀の砂岩泥岩互層を主とする和泉層群からなる。東に傾斜した向斜構造をなし、地層は東方ほど新しくなる。標高は岩湧山の南の909mを最高峰に、西に向かって次第に低くなる。	一部金剛生駒紀泉国定公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
009	紀伊山地	C	山地地形	山脈・山地	北山村・田辺市・高野町・かつらぎ町・有田川町等	紀伊半島東部を南北に延びる大峰山脈や台高山脈等と、東西に延びる長峰山脈、白馬山脈、果無山脈等が複合し、半島の脊梁部をなす山地で、護摩壇山や安堵山等は両者の交差した高峰である。	
010	高野山	C	山地地形	高原	高野町	紀伊山地の北部に位置し、標高約800 mの高位平坦地形面をなす。一帯は、白亜系日高川帯花園付加コンプレックスの砂岩、頁岩からなり、チャート、緑色岩類、酸性凝灰岩を伴う。	高野龍神国定公園
011	千穂ヶ峰	C	山地地形	孤峰	新宮市	標高が253.4 mで、基盤は熊野酸性岩類の流紋岩からなる。山腹に「ごとひき岩」と呼ばれる流紋岩の巨石があり、神倉神社の御神体になっている。その直下の断崖は「天の磐楯」と呼ばれる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
012	烏帽子山	C	山地地形	孤峰	新宮市・那智勝浦町	標高が909.5 mで、基盤は熊野酸性火成岩類の流紋岩からなる。頂上付近に「烏帽子岩」と呼ばれる岩柱がある。	一部吉野熊野国立公園
013	妙法山	C	山地地形	孤峰	那智勝浦町	標高が749.1 mで、基盤は標高約550 m以上の部分で熊野酸性火成岩類、その下位は熊野層群三津野層からなる。熱水鉱床が多数分布し、かつては妙法鉢山として稼行された。	吉野熊野国立公園
014	大雲取山	C	山地地形	孤峰	新宮市・那智勝浦町	標高が965.7 mで、基盤は熊野酸性岩類の流紋岩等からなる。赤木川、高田川、太田川等の源流をなす。	
015	那智山	C	山地地形	その他	那智勝浦町	那智大滝より上流の那智川流域一帯の名称であり、一つの山体を指さない。基盤は熊野酸性岩類の流紋岩等からなる。一部に、国指定天然記念物の原生林が残る。	吉野熊野国立公園
016	粉河の河成段丘	C	侵食地形	河成段丘	紀の川市	鮮新世の菅浦谷層からなる丘陵地を覆い、開析が進んだ高位段丘（標高100 m ±）、さらに紀の川とその支流河川沿いに発達する中位段丘層（80 m ±）、低位段丘層（50 m ±）が顕著に見られる。	
017	和田川	C	侵食地形	渓谷	新宮市熊野川町	熊野川支流、赤木川上流の支谷で、主に熊野層群小口累層の分布域を流下する穿入蛇行河川。途中に断崖絶壁や瀬、瀨が醸し出す渓谷美をなす。	一部県立自然公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
018	大塔川	C	侵食地形	穿入蛇行河川	田辺市	熊野川の支流で、音無川付加シークエンス及び半豊付加シークエンスが分布する地域を著しく曲流する。延長19.5 km、屈曲数 35、標高差 250 m。	一部県立自然公園
019	古座川峡	C	侵食地形	穿入蛇行河川	古座川町	真砂から一雨にかけての18 kmで、屈曲数 12、比高390 m。半豊付加シークエンス及び熊野層群を貫く古座川弧状岩脈にほぼ沿って曲流する。	県立自然公園
020	滝の拝	C	侵食地形	ポットホール	古座川町	古座川支流の小川付近に分布する、第三紀中期中新世の熊野層群下里累層の砂岩がち互層からなる河床が、河水及び砂礫によって円形ないし舟底型、溝型、壺型に侵食されたもので、その分布と規模は大きい。	県指定文化財(名勝・天然)、県立自然公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66、南紀熊野ジオパークジオサイト
021	皆地のふけ田	C	侵食地形	環流丘陵	田辺市本宮町	熊野川支流四村川に形成された環流丘陵を取り巻く旧河道の湿地で、多数の動植物が生息・生育し、自然観察地として利用されている。	
022	黒淵	C	侵食地形	瀨	北山村	北山川の小森ダム下流にみられる峡谷で、両岸の断崖絶壁には、日高川帯竜神付加コンプレックスの頁岩、砂岩頁岩互層が露出する。	吉野熊野国立公園
023	千里の浜	C	海岸堆積地形	砂浜	みなべ町	延長1.5 km、幅約110 mの砂浜で、周辺には田辺層群朝来累層が分布する。アカウミガメの産卵地でもある。1331年の地震によって、沖合が隆起して陸続きになったとの記録がある。	県指定文化財(名勝・天然)、県立自然公園、吉野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、和歌山の親しめる水辺66
024	王子ヶ浜	C	海岸堆積地形	礫浜	新宮市	熊野川河口から南西方向に延長3.2 km、幅50 mで広がる礫浜で、一部砂州を形成する。	吉野熊野国立公園、朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
025	片男波	C	海岸堆積地形	砂州	和歌山市	砂州で、面積8.1 ha、延長1.3 km。国指定名勝和歌山の浦の一部をなす。砂州の内側には、貴重な干潟生物が多種類生息する干潟が広がり、万葉の時代から広く知られる景観美をなす。	和歌山県の朝日・夕陽100選、快水浴場百選、国指定文化財(名勝)、海岸保全区域
026	和歌浦・雑賀崎	C	海岸侵食地形	海食崖	和歌山市	雑賀崎から新和歌浦まで延長1.6 km、比高50 m、基盤岩は三波川変成帯の結晶片岩類で、褐色の塩基性片岩や白黒縞模様の泥質片岩等が断崖に彩りを添えている。	瀬戸内海国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選
027	鷹の巣(上人窟)	C	海岸侵食地形	海食洞	和歌山市	三波川変成帯の結晶片岩からなる海食崖に形成された海食洞で、高さ約13 m、幅約5 m、奥行き約15 mである。	県指定文化財(天然)、瀬戸内海国立公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
028	紀伊大島南東部の海食崖	C	海岸侵食地形	海食崖	串本町	須江から櫻野崎にかけて比高50mの海成段丘と入り組んだ海食崖、岩礁が続く。潮岬火成複合岩体の紫蘇輝石流紋岩や流紋岩質の火砕岩からなる。海金剛は流紋岩の岩礁。	吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
029	九龍島	C	海岸侵食地形	海食崖	串本町	延長0.8km、比高20m。熊野層群敷屋累層と考えられる砂岩及び礫岩からなる。南側に岩礁状に突き出た部分は鯛島と呼ばれる。海食洞に石灰岩が見られ、地質学的研究の価値が高い。	吉野熊野国立公園、町指定文化財(名勝・天然)、南紀熊野ジオパークジオサイト
030	三段洞窟	C	海岸侵食地形	海食洞	白浜町	第三紀中新統田辺層群白浜累層の厚層砂岩層からなる海食崖の三段壁に形成された海食洞である。地上からはエレベーターで降りることができ。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
031	忘帰洞	C	海岸侵食地形	海食洞	那智勝浦町	新第三系熊野層群敷屋累層の砂岩、砂岩泥岩互層からなる狼煙山の海食崖に形成された海食洞で、太平洋を見渡す露天風呂として利用されている。	
032	天神崎	C	海岸侵食地形	海食台	田辺市	天神崎一帯には、新第三紀中新世の田辺層群朝来累層が分布する。主に礫岩からなり、礫は中〜大礫の重円〜円礫で、大部分は砂岩礫からなり、稀に石英やチャートの礫も見られる。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、日本の自然百選
033	すさみ海岸(枯木灘)	C	海岸侵食地形	岩礁	すさみ町	小石ノ鼻から三崎まで延長27kmの岩石海岸で、稲積島、沖ノ黒島等がある。牟婁付加シークエンスの田並川層や佐本川層、小節川層の砂岩、砂岩泥岩互層、泥岩等からなる。また、一部に弧状岩脈が見られる。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
034	友ヶ島	C	海岸変動地形	島	和歌山市	地ノ島、沖ノ島、神島、虎島からなる。白垂系和泉層群友ヶ島累層の砂岩頁岩互層、礫岩層からなり、地層の傾斜を反映したケスタ地形をなす。アンモナイト、イノセラムス、コダイアマモ等の化石を産出する。	瀬戸内海国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選
035	勝浦・湯川海岸	C	海岸変動地形	多島海	那智勝浦町	第三系熊野層群敷屋累層の砂岩、砂岩泥岩互層からなる狼煙山の東側は断崖が続き、周辺には中ノ島、筆島、鶴島、乙島、ラクダ島等の諸島が点在し、「紀の松島」と呼ばれ、高温泉が湧出する。	吉野熊野国立公園、紀の私島：朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
036	深蛇池	C	海岸変動地形	湖沼	和歌山市	友ヶ島の沖ノ島にある海跡湖で、面積約2.5ha、水深0.5mの淡水湖沼である。抽水植物、湿地性植物、浮遊植物等が密生する。	瀬戸内海国立公園、和歌山の親しめる水辺66

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
037	阿尾湿地	C	海岸変動地形	湖沼	日高町	馳出の鼻と阿尾の間にあり、北に開いた小湾が砂州によって封鎖された汽水性の湿地である。面積は約 14.6 ha、水深は 5 m である。	県立自然公園
038	湯川ゆかし淵	C	海岸変動地形	湖沼	那智勝浦町	那智勝浦町湯川にある湯湖（ラグーン）で、2 つの河川の河口が封鎖されてできたものである。北東の湖岸には湯川温泉が湧出する。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
039	高森・広角台地	C	海岸変動地形	海成段丘	新宮市	標高が 125 m、113 m、95 m、76 m の高位段丘面と 60 m の低位段丘面が発達する。前者の礫層は、赤褐色の粘土・シルトの基質に、淘汰のやや良くない円～亜円礫を含む。後者の砂礫層は 60 m 以上ある。	
040	紀伊大島の海成段丘	C	海岸変動地形	海成段丘	串本町	海岸段丘は、標高 125 m、70～100 m、55 m の 3 段に区分でき、前者 2 面は高位段丘に、後者 1 面は低位段丘に対比される。基盤岩は、潮岬火成複合岩類の流紋岩類及び流紋岩質火砕岩からなる。	吉野熊野国立公園
041	長峰山脈	D	山地地形	山脈	高野町・かつらぎ町・紀美野町・有田川町等	天狗岳を最高峰に、西方へ低くなる。主に三波川変成帯の堂嶋海山層、生石層の結晶片岩類等からなり、南麓の一部に秩父系帯の先白亜系、白亜系が分布する。	一部県立自然公園
042	白馬山脈	D	山地地形	山脈	有田川町・田辺市龍神村・日高町等	城ヶ森山を最高峰に西方へ低くなる。白亜系日高川帯美山付加コンプレックスや寺杣層の砂岩、砂岩頁岩互層、頁岩からなり、前者にはチャートや緑色岩類を伴う。	一部県立自然公園
043	果無山脈	D	山地地形	山脈	田辺市龍神村及び中辺路町・みなべ町	東部では 1,000 m 級の山々が連なる。昔無川付加シークエンスの瓜谷層、羽六層の砂岩、砂岩泥岩互層、泥岩、礫岩からなる。山脈の主稜線は、東西圧縮による屈曲が顕著である。	一部県立自然公園
044	葛城山	D	山地地形	孤峰	紀の川市	標高 858 m で、基盤は中生代後期白亜紀の和泉層群岩出果層からなり、主に砂岩優勢の砂岩頁岩互層である。	一部金剛生駒紀泉国定公園
045	龍門山	D	山地地形	孤峰	紀の川市	標高 755.9 m で、紀州富士とも呼ばれ、基盤は三波川変成帯の結晶片岩及び超塩基性岩からなる。頂上近くに磁石岩、明神岩の風穴洞（奥行 32 m）がある。	県立自然公園
046	護摩壇山	D	山地地形	孤峰	田辺市龍神村	標高 1,372 m で、基盤は四万十付加体の日高川帯美山付加コンプレックスの地層からなる。高野・龍神スカイラインが通じ、展望塔が建てられている。	高野龍神国定公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選、水源の森百選

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
047	龍神岳	D	山地地形	孤峰	田辺市龍神村	標高 1,382 m で、県内最高峰。基盤は四万十付加体の日高川帯美山付加コンプレックスの地層からなる。国土地理院が 2000 年に調査、2009 年に田辺市が名称を公募で決定した。	高野龍神国定公園
048	西山	D	山地地形	孤峰	美浜町・日高町	標高 328.7 m で、四万十付加体の日高川帯美山付加コンプレックスの地層からなる。	一部県立自然公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選
049	高雄山 (高尾山)	D	山地地形	孤峰	田辺市	標高 605.9 m で、基盤は四万十付加体音無川付加シークエンスの羽六層からなる。	一部県立自然公園
050	大塔山	D	山地地形	孤峰	田辺市・古座川町・新宮市	標高 1,121.8 m で、基盤は四万十付加体の牟婁付加シークエンス安川層からなる。	県立自然公園
051	重畳山	D	山地地形	孤峰	串本町	標高 301.8 m で、基盤は新生代第三紀中新世の熊野層群下里累層からなる。	町指定文化財 (名勝・天然)
052	生石高原	D	山地地形	高原	有田川町・紀美野町	標高 870.1 m の生石ヶ峰を中心に、面積約 8.9 km ² の中起伏山地で、基盤は三波川変成帯の結晶片岩類からなる。頂上付近の表土に黒ボク土が見られる。	県立自然公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選
053	四木山 (撞木山)	D	山地地形	岩峰・岩柱	新宮市熊野川町	相須付近に見られる岩峰・岩柱で、熊野層群小口累層に貫入する大峰酸性岩類の流紋岩 (花崗斑岩) からなり、柱状節理が発達している。	吉野熊野国立公園
054	蓬萊山	D	山地地形	孤峰	新宮市	熊野川河口付近にあり、熊野酸性火成岩類の流紋岩 (花崗斑岩) からなる標高 48 m の小さな孤峰。古代より神が降臨した霊山とされてきた。	南紀熊野ジオパークジオサイト
055	ゴトビキ岩	D	風化侵食地形	コアストーン	新宮市	千穂ヶ峯の南南東、標高 87 m にあり、熊野酸性火成岩類の流紋岩 (花崗斑岩) からなる巨大なコアストーンで、信仰対象となっている。	南紀熊野ジオパークジオサイト
056	沼池	D	マスムーブメント地形	湖沼	有田川町	黒沢川 (標高 509.4 m) の東斜面、標高 465 m にある面積約 2,000 m ² の淡水自然沼で、水深 1.2 m。沼底の腐植泥層は 4.5 m あり、冬期は結氷する。	県立自然公園
057	見草の大池・小池	D	マスムーブメント地形	湖沼	白浜町	見草川支谷に形成された凹地で、尾根の崩壊による小規模な堰止め湖的地形で標高 90 m。大雨の時、一時的に貯水される。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリ	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
058	八丁平	D	マスムーブメント地形	崖錐	新宮市	白見山東麓口高田にある崖錐地形で、比高は120 m、面積は52 haあり、崖錐をなす岩塊のすき間から涼風が吹き出し、霧を発生させるので霧穴群とも呼ばれる。	
059	金剛寺の大規模地すべり跡	D	マスムーブメント地形	崖錐	かつらぎ町	昭和28年の有田川水害時に、金剛寺の北側の山の斜面が崩壊し、一時、有田川をせき止めた。山は四万十付加帯日高川帯の湯川付加コンプレックスの地層からなる。	
060	奥番の大規模地すべり跡	D	マスムーブメント地形	崖錐	田辺市本宮町奥番	平成23年台風12号の豪雨により発生。張安スラストの破砕帯をなす音無川付加シークエンス羽六層下部の泥質優勢互層が崩壊し、崩土が三越川を堰き止め湖を形成、環流地形の旧河道を溢流、侵食して新たな河道を形成。崩土は、ロープ状崩壊堆積物を形成。	
061	伏菟野の大規模地すべり跡	D	マスムーブメント地形	崖錐	田辺市伏菟野	平成23年台風12号の豪雨により発生。四万十付加体音無川帯の屈曲構造をなす古屋谷スラストの破砕帯が、流れ盤崩壊を起こし、ロープ状崩壊堆積物と移動土塊を形成。スラストの下盤は音無川付加シークエンス羽六層の泥質互層、上盤は瓜谷層の泥岩層。	
062	滝尻の大規模地すべり跡	D	マスムーブメント地形	崖錐	田辺市中辺路町滝尻	平成23年台風12号の豪雨により発生。牟婁付加シークエンスの厚層砂岩・礫岩層が崩壊、ほぼ流れ盤をなす。源頭部には大規模な移動土塊が見られる。富田川本流に向かって門谷で土石流が発生、本流に堰き止め湖ができ、その後決壊した。	
063	熊野の大規模地すべり跡	D	マスムーブメント地形	崖錐	田辺市熊野	平成23年台風12号の豪雨により発生。牟婁帯合川複合斜の八丁坂向斜の北翼にあたり、牟婁付加シークエンス打越層の厚い砂岩層とその上位の合川層の泥岩層が流れ盤崩壊を起こす。崩土は、大量の崩壊堆積物と移動土塊からなり、土石流は百間谷に達した。	
064	玉川峡	D	侵食地形	峡谷・渓谷	九度山町・橋本市	紀の川支流丹生川の渓谷で、日高川帯花園付加コンプレックスの分布域を流下する。河床には八葉石、猿飛石、淵が続く碧淵等がある。	泉立自然公園
065	連磨石峡谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	紀美野町	紀の川支流貴志川の渓谷で、一帯は三波川変成帯の結晶片岩からなる。河床にある大岩は連磨石と呼ばれ、結晶片岩の巨礫である。	紀の国の名水、和歌山の頼しめ る水辺66

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
066	白谷川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	かつらぎ町	有田川支流白谷川の渓谷で、花園付加コンプレックスからなる日高川帯を流下するため、河床にはチャートや緑色岩の礫が見られる。途中に赤滝がある。	
067	明恵峡	D	侵食地形	峡谷・渓谷	有田川町	有田川本流の峡谷で、両岸には秩父累帯白亜系の松原層の砂岩や頁岩、礫岩が露出する。	町指定文化財（名勝）
068	小森谷渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市龍神村	日高川支流で小森から護摩壇山頂上まで延長約10km。日高川帯美山付加コンプレックスの分布域を流下する渓谷で、途中に衛門嘉門の滝、越戒の滝、お万ヶ淵、赤壺白壺がある渓谷。	高野龍神国定公園
069	奇絶峡	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市	右会津川が高尾山の西を流下する所にある。四万十付加帯の音無川付加シークエンス羽六層の厚層粗粒砂岩が峡谷をなし、絶壁に懸崖大石仏が刻まれている。	県立自然公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
070	救馬溪	D	侵食地形	峡谷・渓谷	上富田町	田辺層群朝来累層の粗粒砂岩、礫岩層が断崖をなし、岩屋の部分を利用して観音が祀られている。救馬溪観音お滝、女郎湯がある。	お滝：紀の国の名水、南紀熊野ジオパークジオサイト
071	安川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市	日置川支流の安川流域で、支流の又井川との合流点付近の景観が良い。砂岩泥岩互層や泥岩からなる、牟婁帯の安川層の分布域を流下する渓谷である。	一部県立自然公園
072	前ノ川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市	大塔山を源流とする日置川の支流で、主として牟婁帯の打越層の砂岩、砂岩泥岩互層の分布域を曲流する渓谷である。	
073	将軍川	D	侵食地形	峡谷・渓谷	白浜町	高尾山、大森山を源流とする日置川の支流で、牟婁帯の打越層の砂岩、砂岩泥岩互層の分布域を曲流する渓谷である。	
074	田長谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	新宮市熊野川町	白見山の西側を半周するように流下する、熊野川支流の渓谷である。熊野酸性火成岩類の分布域のため、滑床をなす部分も多い。下流部に鼻白の滝がある。	下流の一部は吉野熊野国立公園
075	九里峡	D	侵食地形	峡谷・渓谷	新宮市	田長から新宮にかけての熊野川で、熊野酸性火成岩類の流紋岩（花崗斑岩）が侵食された峡谷域をいう。河岸には柱状節理が発達した岩壁や奇岩が見られる。	吉野熊野国立公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
076	奥山谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	新宮市熊野川町	熊野川支流赤木川支流和田川支流で、大塔山、足郷山を源流とする渓谷で、絶壁、滝、釜が続く。牟婁帯の安川累層、打越層、合川層を流下する。	一部県立自然公園
077	七色峽	D	侵食地形	峡谷・渓谷	北山村	北山川の七色ダムから下流 2.1 km の峡谷で、流域には日高川帯竜神付加コンプレックス及び熊野層群大沼累層が露出する。	吉野熊野国立公園
078	四ノ川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	北山村	笠捨山、茶臼山等を源流とする北山川の支流をなす渓谷で、落差数 m ～十数 m の滝が多数ある。日高川帯の竜神付加コンプレックス、熊野層群大沼累層の分布域。	
079	那智山渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	那智勝浦町	烏帽子山を源流とする那智川の上流部にあたる渓谷である。大滝をはじめ、「那智四十八滝」の多くはこの谷にある。主に熊野酸性火成岩類が分布する。	吉野熊野国立公園
080	太田川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	那智勝浦町	出合から太田川支流の熊瀬川、小匠川、更に高野川に達する。各河谷には、穿入蛇行が発達して枝状の谷をなす。熊野層群小口累層及び三津野累層の分布域。	
081	平井川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	古座川町	古座川支流で大塔山を源流とし、玉ノ谷から七川ダムまでの渓谷で、牟婁帯打越層の分布域を南にやや直線状に流下する。	県立自然公園
082	成見川渓谷(成見八丁)	D	侵食地形	峡谷・渓谷	古座川町	古座川支流の小川から小森川付近までの渓谷で、上流部は枝状になり、下流部は直線状に流下する。熊野層群小口累層の分布域である。	県立自然公園
083	七日めめり(滑床)	D	侵食地形	峡谷・渓谷	古座川町	足郷山西方の古座川で、延長 600 m、滑床幅 20 m、水路幅 2 m。牟婁帯安川層の熱水変質を受けた砂岩泥岩互層からなる。	
084	黒蔵谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市本宮町	熊野川支流、大塔川の支谷で、打越背斜の北翼に分布する牟婁帯の打越層及び合川層を流下し、黒蔵滝やカクタロウ滝等多数の滝を形成する。	日本の谷百選
085	大杉谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	田辺市本宮町	熊野川支流、大塔川の支谷で、打越背斜の北翼に分布し、砂岩泥岩互層や泥岩からなる牟婁帯の安川層を流下する。流域には大杉滝等が見られる。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
086	高田川渓谷	D	侵食地形	峡谷・渓谷	新宮市	熊野川の支流で大雲取山、烏帽子山を源流とし、熊野酸性火成岩類、一部は熊野層群を流下する。流域には滝が多い。	紀の国の名水
087	有田川の河成段丘	D	侵食堆積地形	河成段丘	有田川町	有田川左岸の有田川町吉原から下津野及び右岸の歓喜寺から糸野にかけて、標高50~60 m、35~50 m、25~35 mの段丘面を持ち、各段丘面は下流へ傾斜、段丘礫層を有する。	
088	富田川の河成段丘	D	侵食堆積地形	河成段丘	上富田町	富田川右岸の下鮎川及び左岸の市ノ瀬に発達、前者では3段のうち第2段の標高65 m面が広く分布、後者は幅550 m、延長1 kmにわたり分布する。開析谷が発達する。	南紀熊野ジオパークジオサイト
089	押手付近の有田川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	かつらぎ町～有田川町	梁瀬～杉の原にかけて、延長8.5 km、屈曲数15、比高180 mである。日高川帯湯川付加コンプレックスの分布域を曲流する。	
090	清水付近の有田川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	有田川町	久野原～打井原にかけて、延長4 km、屈曲数6、比高220 mである。外和泉層群二川層の分布域を曲流する。	
091	安井下流の日高川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	田辺市龍神村	安井～甲斐ノ川にかけて、延長16.5 km、屈曲数17、比高627 mである。日高川帯竜神付加コンプレックス及び昔無川付加シークエンスを曲流する。	
092	五味付近の日高川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	日高川町・田辺市龍神村	大瀬～小滝浦にかけて、延長10 km、屈曲数14、比高432 mである。日高川帯竜神付加コンプレックスの分布域を曲流する。	
093	川原河付近の日高川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	日高川町	小滝浦～下越方にかけて、延長16 km、屈曲数15、比高717 mである。日高川帯竜神付加コンプレックスの分布域を曲流する。途中に椿山ダムがある。	
094	高津尾付近の日高川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	日高川町	上田原～坂本にかけて、延長20 km、屈曲数15、比高376 mである。竜神付加コンプレックスの分布域を曲流する。	
095	市鹿野下流の日置川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	白浜町	市鹿野～安宅にかけて、延長32 km、屈曲数24、比高420 mである。牟婁帯の合川層及び田辺層群朝来層の分布域を曲流する。	県立自然公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
096	下木守から串にかけての前の川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	田辺市	下木守~串にかけて、延長19.5 km、屈曲数30、比高300 mである。牟婁帯打越層及び合川層の分布域を曲流する。	
097	上野下流の白匭川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	田辺市	上野から向山にかけて、延長7.5 km、屈曲数16、比高300 mである。牟婁帯打越層の分布域を曲流する。	県立自然公園
098	佐本川渓谷	D	侵食地形	穿入蛇行河川	すさみ町・古座川町	古座川支流、佐本川の佐本根倉から本流との合流付近にかけて、延長6.8 km、屈曲数12、比高350 mである。牟婁帯周参見構造ユニットの地層分布域を流下する。	県立自然公園
099	北山川	D	侵食地形	穿入蛇行河川	新宮市熊野川町	熊野川の支流北山川で、延長16.5 km、屈曲数6、比高345 mである。日高川帯竜神付加コンプレックス及び熊野層群大沼累層、小口累層分布域を流下する。	吉野熊野国立公園
100	小川峡	D	侵食地形	穿入蛇行河川	古座川町	古座川支流小川の直見から小森川にかけて、延長31 km、屈曲数50、比高340 mである。熊野層群下里累層、一部牟婁帯周参見構造ユニットの地層を流下する。	県立自然公園
101	日高川殿原の環流丘陵地形	D	侵食地形	環流丘陵	田辺市龍神村	日高川支流丹生ノ川の殿原付近で、直線上の川が曲流したために元の河床が平地になり、小さな孤峰が形成された。小森は更に古い時代の環流丘陵である。	
102	太田川の環流丘陵地形	D	侵食地形	環流丘陵	那智勝浦町	太田川下流域の外う地、庄、下和田のほか、上流の小匠川の小匠やその上流部、上流の熊瀬川にも形成されている。	南紀熊野ジオパークジオサイト
103	押回	D	侵食地形	瀬	新宮市熊野川町	熊野川支流北山川流域の嶋津付近にあり、水深13 m、延長100 mである。基盤岩は、熊野層群小口累層である。	吉野熊野国立公園
104	大淵	D	侵食地形	瀬	北山村	熊野川支流北山川流域の小松付近にあり、水深10 m、延長40 mである。基盤岩は、熊野層群の大沼累層からなる。	吉野熊野国立公園
105	国主淵	D	侵食地形	淵	紀の川市貴志川町	紀の川支流貴志川の国主付近にあり、水深2 m、下流端は井堰で、右岸は公園として整備されている。基盤岩は、三波川帯の結晶片岩である。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
106	庄司ヶ淵	D	侵食地形	淵	田辺市中辺路町	富田川流域の真砂付近にあり、砂礫が堆積して深くないが、清姫伝説の地として淵の岸が整備されている。基盤岩は、牟婁帯安川層の砂岩泥岩互層である。	市指定文化財（史跡）

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
107	相須ヶ淵	D	侵食地形	淵	北山村	熊野川支流、北山川にあり、水深15 m。日高川帯竜神付加コンプレックスその上に不整合に重なる熊野層群大沼累層との境界部にあたる。	吉野熊野国立公園
108	釜滝の罅穴	D	侵食地形	ポットホール	紀美野町	三波川変成帯の結晶片岩からなる真国川の河床に、径0.5~1.0 mの多数の罅穴が形成されている。浅い舟底状のものも見られる。	県指定文化財(天然)
109	鎌滝の罅穴	D	侵食地形	ポットホール	紀美野町	三波川変成帯の結晶片岩からなる貴志川の河床に、径0.6~1 m、深さ0.7~2 mの多数の罅穴が形成され、2つが連結したものも見られる。	
110	奥山の罅穴	D	侵食地形	ポットホール	田辺市	名喜里川源流で田辺層群来累層の砂岩層からなる河床にあり、径2~5 m程度の罅穴が数十個ある。現在はすぐ上流部に道路が横切り、開発が進んでいる。	県指定文化財(天然)
111	舟岡山(川中島)	D	侵食地形	川中島	かつらぎ町	紀の川の川中島で、周囲は約1 km、比高は20 m。三波川変成帯の中では船岡山岩体と呼ばれ、飯盛ユニットとは組織や鉱物組成の異なる結晶片岩からなる。	県立自然公園、和歌山県の朝日夕陽100選
112	屋嶋	D	侵食地形	川中島	新宮市	熊野川の川中島で、流紋岩(花崗斑岩)からなり、頂部に草木が茂る。熊野川の川船下りの道中にあり、熊野権現にまつわる伝説がある。	吉野熊野国立公園
113	河内島	D	侵食地形	川中島	古座川町	古座川河内祭りの祭祀の中心となる川中島で、古座川弧状岩脈の流紋岩からなる。	
114	五光の滝	D	侵食地形	滝	橋本市	紀の川支流丹生川支谷。一文字状、落差20 m、滝口幅1 m、滝壺有り。弱変成の珪質頁岩からなる。	県立自然公園、和歌山の親しめる水辺66
115	不動滝(手水の滝)	D	侵食地形	滝	橋本市	紀の川支流山田川支谷。一文字状、落差10 m、滝口幅1 m、滝壺なし。	金剛生駒紀泉国定公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
116	丹生ノ滝	D	侵食地形	滝	橋本市・九度山町	紀の川支流丹生川支谷。多段型、落差25 m、滝口幅1 m、滝壺なし。	県立自然公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
117	嵯峨の滝	D	侵食地形	滝	橋本市高野口町	紀の川支流嵯峨谷川。一文字状、落差6 m、滝口幅1 m、滝壺なし。	
118	文蔵の滝	D	侵食地形	滝	かつらぎ町	紀の川支流穴伏川支流堂川。一文字状、落差12 m、滝口幅1 m、滝壺あり。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
119	三重の滝	D	侵食地形	滝	かつらぎ町	紀の川支流穴伏川枝谷。多段型、上段から聖宝の滝、不動の滝、潮の滝と呼ばれる。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
120	稚児の滝	D	侵食地形	滝	高野町	紀の川支流不動谷川上流御殿川。	
121	岩谷権現の滝	D	侵食地形	滝	紀の川市桃山町	紀の川支流貴志川支流柘榴川支谷。	
122	新田の滝	D	侵食地形	滝	紀の川市桃山町	紀の川支流貴志川支流真国川支流深山谷。流域には他に滑り滝、竜巻き滝、二条の滝等がある。	深山深谷：和歌山の親しめる水辺66
123	秘文の滝 (雄滝・雌滝)	D	侵食地形	滝	紀の川市桃山町	紀の川支流貴志川支流柘榴川の渓流と淵多段型、落差1 m程度、所々に罅穴が見られる。	和歌山の親しめる水辺66
124	裏見の滝	D	侵食地形	滝	海南市下津町	加茂谷支谷、福勝寺本堂の西側。多段型、落差20 m、滝口幅8 m、滝壺なし。	市指定文化財（名勝）
125	不動の滝	D	侵食地形	滝	紀美野町	紀の川支流貴志川支流真国川支谷。一文字状、落差15 m、滝口幅2 m。	
126	赤滝	D	侵食地形	滝	かつらぎ町	有田川支流臼谷川。多段型、落差数 m、滝壺なし。	
127	金剛の滝	D	侵食地形	滝	かつらぎ町	有田川本流。分散型、落差12 m、滝口幅2 m、滝壺なし。	高野龍神国定公園
128	さがりの滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流湯川川支谷。多段型、落差25 m、滝口幅1.5 m、滝壺あり。	県立自然公園
129	銚子の滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流湯川川支谷。多段型、落差15 m、滝口幅1.5 m、滝壺なし。	県立自然公園
130	五段の滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流湯川川支流中股谷川。多段型、落差20 m、滝口幅1 m、滝壺なし。下流部に砂防堰堤あり、土砂埋積。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
131	不動の滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流四村川上流。多段型、落差30 m、滝口幅1 m、滝壺あり。	
132	カガマリの滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流四村川支流南古谷川支流中尾谷川。一文字状、落差8 m、滝口幅2 m、滝壺なし。下流部に砂防堰堤あり、土砂埋積。	
133	油滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流四村川支谷。一文字状、落差13 m、滝口幅1 m、滝壺なし。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
134	鮎返の滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流四村川支流南古谷川。一文字状、落差 2 m、滝口幅 1.5 m、滝壺あり。	
135	七滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流四村川支流南古谷川。多段型、落差 7 m、滝口幅 1.5 m、滝壺あり。	
136	虚空蔵の滝 (黒蔵の滝)	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流早月谷川支谷。一文字状、落差 30 m、滝口幅 1 m。	
137	次の滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流早月谷川支谷。一文字状、落差 46 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	町指定文化財(名勝)、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
138	白馬滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流修理川上流。多段型、落差 40 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	町指定文化財(名勝)
139	釜中滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流玉川支谷。多段型、落差 12 m、滝口幅 0.5 m、滝壺なし。	
140	姥ヶ滝	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流賢谷川上流。分散型、落差 15 m、滝口幅 1 m、滝壺なし。	町指定文化財(名勝)、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
141	不動ノ滝 (青蛇の滝)	D	侵食地形	滝	有田川町	有田川支流田口谷川上流。一文字状、落差 6 m、滝口幅 1 m、滝壺なし。	
142	藤滝	D	侵食地形	滝	広川町	広川支谷。分散型、落差 12 m、滝口幅 2 m、滝壺なし。	紀の国の名水
143	衛門嘉門の滝	D	侵食地形	滝	田辺市龍神村	日高川支谷小森谷上流。多段型(3段)、落差計 11 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	高野龍神国定公園
144	越戒の滝	D	侵食地形	滝	田辺市龍神村	日高川支谷小森谷上流。一文字状、落差 10 m、滝壺幅 2 m、滝壺あり。	高野龍神国定公園
145	恋小袖の滝	D	侵食地形	滝	田辺市龍神村	日高川支流古川上流。多段型、落差 12 m、滝口幅 1 m、滝壺なし。	高野龍神国定公園
146	曼陀羅の滝	D	侵食地形	滝	田辺市龍神村	日高川支谷 湯本東方 300 m。多段型、落差 14 m、滝口幅 0.5 m、滝壺なし。	高野龍神国定公園
147	万蔵の滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支流寒川支流朔日川。多段型、落差 13 m、滝口幅 1.5 m、滝壺あり。	
148	塔ノ島の滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支流初湯川。一文字状、落差 5 m、滝口幅 3 m。滝口周辺に罅あり。下流 200 m は渓谷。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
149	白馬の滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支流愛川。多段型、落差 14 m、滝口幅 4 m、滝壺あり。	
150	鷲の川滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支流鷲の川。分散型、落差 10 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
151	大滝川御滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支流江川。一文字状、落差 10 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	県自然環境保全地域、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
152	蛇尾の滝	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支谷。一文字状、落差 7.5 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	
153	鈴川の滝 (松瀬の滝)	D	侵食地形	滝	日高川町	日高川支谷。一文字状、落差 7 m、滝口幅 0.4 m、滝壺あり。	
154	水滝不動滝	D	侵食地形	滝	日高町	日高川支流西川上流大谷川。多段型、落差 11 m、滝口幅 1.2 m、滝壺なし。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
155	菱の滝	D	侵食地形	滝	印南町	切目川支谷。分散型、落差 14 m、滝口幅 2 m、滝壺なし。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
156	救馬溪観音お滝	D	侵食地形	滝	上富田町	富田川支流。一文字状、落差 10 m、滝口幅 1 m、滝壺なし。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66、南紀熊野ジオパークジオサイト
157	夫婦ノ滝 (観音滝)	D	侵食地形	滝	田辺市中辺路町	富田川支流中川支流内井川上流。多段型、落差 7 m、滝口幅 1.5 m、滝壺あり。	市指定文化財(名勝)、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
158	湯川川の滝	D	侵食地形	滝	田辺市中辺路町	熊野川四村川支流湯川川上流。一文字状、落差 20 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	
159	不動ノ滝	D	侵食地形	滝	田辺市中辺路町	熊野川支流四村川。多段型、落差 7 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。滝の上半分は堰堤で下半分のみ自然状態。	
160	分譲ノ滝	D	侵食地形	滝	田辺市中辺路町	富田川支流内ノ井川支流。多段型、落差 40 m、滝口幅 2 m、滝壺なし。	
161	牛屋谷のお滝 さん	D	侵食地形	滝	白浜町	富田川支流庄川支谷牛屋谷。一文字状、落差 5 m、滝口幅 1 m。江戸時代から雨乞いの滝として知られる。	
162	八草の滝	D	侵食地形	滝	白浜町	日置川支谷八草谷の西側の谷下流。一文字状、落差 40 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	日本の滝百選、県立自然公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
163	一の滝 (ドン谷滝)	D	侵食地形	滝	白浜町	日置川支谷ドン谷下流。多段型(2段)、落差7m、滝口幅4m、一段目に滝壺あり。	県立自然公園
164	祝の滝	D	侵食地形	滝	白浜町	日置川支流三ヶ川上流。分散型、落差15m、滝口幅2m、滝壺あり。	
165	西大谷の百間滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支谷西大谷。一文字状、落差12m、滝口幅1.5m。	市指定文化財(天然)
166	かやの滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流熊野川支谷百間谷。一文字状、落差10m、滝口幅1m。	県立自然公園
167	雨乞の滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流熊野川支谷百間谷。一文字状、落差10m、滝口幅0.5m、滝壺あり。	県立自然公園
168	地蔵の滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流熊野川支谷百間谷。一文字状、落差15m、滝口幅1m、滝壺あり。	県立自然公園
169	犬落ちの滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流熊野川支谷百間谷。一文字状、落差12m、滝口幅0.3m、滝壺あり。	県立自然公園
170	百間の滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流熊野川支谷百間谷上流。多段型、落差40m、滝口幅3m、滝壺なし。	県立自然公園
171	木守の滝 (A, B, C)	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流前ノ川支流中川。 A:一文字状、落差12m、滝口幅10m。 B:多段型、落差13m、滝口幅0.5m。 C:多段型、落差26m、滝口幅5m。	県立自然公園
172	夫婦の滝 (A, B)	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流安川支谷又井川上流。 西側(A):一文字状、落差17m、滝口幅3m。 東側(B):一文字状、落差10m、滝口幅2m。 いずれも「夫婦の滝」と呼ばれる。	
173	細尾の滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流安川支谷小鮫谷。一文字状、落差25m、滝口幅1.5m、滝壺あり。	
174	牛鬼の滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流安川上流。一文字状、落差15m、滝口幅2m、滝壺あり。	
175	修験ノ滝	D	侵食地形	滝	田辺市	日置川支流安川支谷小屋谷。多段型、落差27m、滝口幅2m、滝壺あり。	県立自然公園
176	栗の滝	D	侵食地形	滝	すさみ町	周参見川上流。多段型(2段)、落差15m、滝口幅10m、滝壺3m。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
177	琴の滝	D	侵食地形	滝	すさみ町	周見川支流広瀬谷。分散型、落差 15 m、滝口幅 1 m、滝壺あり、下流に「元服の滝」、「朝虹の滝」等があり、谷沿いに遊歩道が整備されている。	県自然環境保全地域、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
178	大鎌の大滝	D	侵食地形	滝	串本町・すさみ町	古座川支流三尾川支流比曽原川。多段型、落差 5 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	
179	吐生の滝 (お滝さん)	D	侵食地形	滝	串本町	有田川支流。分散型、落差 18 m、滝口幅 2 m、滝壺なし。	紀の国名水、和歌山の親しめる水辺 66
180	才助滝	D	侵食地形	滝	串本町	有田川支流才助谷上流。分散型、落差 27 m、滝口幅 5 m、滝壺なし。	
181	便田の滝	D	侵食地形	滝	串本町	田子川支流。多段型、落差 15 m、滝口幅 1 m。	
182	お滝さん	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流請川谷。一文字状、落差 17 m、滝口幅 5 m、滝壺あり。	
183	平治の滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流四村川支流奴田谷。多段型、落差 40 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺 66
184	神首ノ滝 (滝ノ首)	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流四村川支流奴田谷の下流。一文字状、落差 3 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。規模は小さいがいくつもの滝が連続。罅穴あり。	
185	黒蔵滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流黒蔵谷。一文字状、落差 8 m、滝壺あり。	
186	カンタロウ滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流黒蔵谷。一文字状、落差 35 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	
187	高山谷の滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流高山谷。多段型、落差 20 m、滝壺あり。	
188	船返滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流黒蔵谷下流。多段型、落差 10 m、滝口幅 3 m。滝の北側上方に「餘倉岩」あり。	
189	大塔川の船返滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川中流。一文字状、落差 7 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。周辺には小滝、罅穴が多い。	県立自然公園
190	大杉谷の滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流大杉谷。一文字状、落差 40 m、滝壺あり。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
191	大塔川上流の滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川上流。多段型、落差 40 m、滝口幅 1 m、滝壺なし。	
192	大杉滝 (A、B)	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	大塔川支流大杉谷入口に A (上)、B (下) 2 つあり。 A: 一文字状、落差 13 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。 B: 一文字状、落差 16 m、滝口幅 0.5 m、滝壺あり。	
193	逢合滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川中流。一文字状、落差 5 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。通称「カタマンボ」と呼ばれる渓谷で、小滝、罅あり。	県立自然公園
194	中小屋谷の滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支谷中小屋谷の上流。多段型、落差 25 m。	
195	ヒツボノ滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流笹ノ瀬川。多段型、落差 10 m、滝口幅 1.5 m、滝壺あり。上流には小滝が連続し、廊下状になる。	
196	雨泊滝	D	侵食地形	滝	田辺市本宮町	熊野川支流大塔川支流笹ノ瀬川。多段型、落差 18 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	
197	ながしまの滝	D	侵食地形	滝	北山村	熊野川支流北山村支谷竹原谷。多段型 (2 段)。落差は上段約 15 m、下段 3 m、滝壺あり。	
198	モミジ滝	D	侵食地形	滝	北山村	熊野川支流北山村支谷市老谷。2 段状、落差 45 m、滝口幅 5 m、滝壺あり。	
199	市老滝 (鎌山滝)	D	侵食地形	滝	北山村	熊野川支流北山村支谷市老谷。一文字状、落差 25 m、滝口幅 5 m、滝壺あり。上・下流に数 m~25 m の滝が連続する。	
200	雷の滝	D	侵食地形	滝	北山村	熊野川支流北山村支谷。一文字状、落差 30 m、滝壺あり。凝灰質砂岩泥岩互層からなる。	和歌山の親しめる水辺 66
201	五郎滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川支流赤木川上流和田川支谷興山谷。一文字状、落差 25 m、滝壺あり。	
202	のの滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川赤木川上流小口川支谷ガマ谷。多段型、落差 63 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	
203	ナカ滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川赤木川上流小口川支谷ガマ谷。一文字状、落差 35 m、滝壺あり。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
204	ガマ滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川支流赤木川上流小口川支谷ガマ谷。多段型、落差 35 m、滝壺あり。	
205	宝竜滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川赤木川上流小口川支谷滝本谷。多段型、落差 65 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	紀の国の名水
206	白滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川支流赤木川上流小口川支谷滝本谷。落下型不明、落差 50 m、滝壺あり。	
207	へや滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川支流赤木川上流小口川支谷滝本北谷。一文字状、落差 20 m、滝口幅 1 m、滝壺あり。	
208	鼻白滝	D	侵食地形	滝	新宮市熊野川町	熊野川支谷田長谷。多段型、落差 90 m、滝口幅 5 m、滝壺あり。熊野酸性火成岩類の岩相差の部分に形成されている。	市指定文化財(名勝)、県立自然公園、紀の国の名水、和歌山の親しめる水辺66
209	仙人滝	D	侵食地形	滝	那智勝浦町	太田川支流熊瀬川上流。一文字状、落差 30 m、滝口幅 4 m、滝壺あり。	
210	陰陽滝	D	侵食地形	滝	那智勝浦町	那智川支谷。分散型、落差 10 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	吉野熊野国立公園
211	姫川の滝	D	侵食地形	滝	串本町	姫川の北方。一文字状、落差 8 m、滝口幅 2 m、滝壺なし。	
212	神水瀑	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流の柳小谷。一文字状、落差 10 m、滝壺あり。地元住民の飲用水として用いられている。	
213	中津谷の滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流小川支谷。多段型(6段)、落差計 30 m、滝口幅 3 m、滝壺あり。	
214	張尾の滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川上流の張尾谷。一文字状、落差 24 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	
215	植魚の滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川上流の弓矢谷。多段型、落差 18 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。滝の後退により最大比高 18 m、川幅 6 m、延長 37 m の蛇行廊下を形成。	
216	まぼろしの滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流平井川支谷栃ノ谷。一文字状、落差 60 m、滝口幅 5 m。	
217	玉ノ谷滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流平井川上谷風呂の谷。多段型、落差 10 m、滝口幅 5 m、滝壺あり。	県立自然公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
218	妙呂寺滝	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流小川支流宇筒井川支谷妙呂寺谷。一文字状、落差 35 m、滝口幅 2 m、滝壺あり。	
219	大滝 (大桑大滝)	D	侵食地形	滝	古座川町	古座川支流小川支流宇筒井川支谷大桑谷。一文字状、落差 20 m、滝口幅 10 m、滝壺あり。	
220	白尻の滝	D	侵食地形	滝	新宮市	熊野川支谷、一文字状、落差 20 m、滝口幅 4 m。	吉野熊野国立公園
221	一つ落ちの滝	D	侵食地形	滝	新宮市	熊野川支流高田川支谷。一文字状、落差 50 m、滝口幅 5 m、上流に「梅戸滝」、下流に「出合の滝」、「ナマス口の滝」がある。	
222	鳴谷一の滝	D	侵食地形	滝	新宮市	大雲取山東部。一文字状、落差 10 m、滝口幅 4 m、滝壺あり。	
223	鳴谷二の滝	D	侵食地形	滝	新宮市	大雲取山東部。一文字状、落差 40 m、滝口幅 10 m、滝壺なし。	
224	タキワケの滝 (大越滝)	D	侵食地形	滝	新宮市	熊野川支流高田川上流西高田川。一文字状、落差 10 m、滝口幅 8 m、滝壺あり。	
225	桑ノ木の滝	D	侵食地形	滝	新宮市	熊野川支流高田川支谷桑ノ木谷。一文字状、落差 15 m、滝口幅 8 m、滝壺あり。	日本の滝百選
226	高滝	D	侵食地形	滝	新宮市	熊野川支流高田川下流。一文字状、落差 50 m、滝口幅 4 m、滝壺あり。	
227	ぶつぶつ川	D	侵食地形	その他	那智勝浦町	粉白川の支流で、本流の伏流水を水源とし、延長 13.5 m の日本一短い 2 級河川。右岸は石垣になっている。	南紀熊野ジオパークジオサイト
228	男浦・宮崎鼻・高田海岸	D	海岸侵食地形	海食崖	有田市	男浦から高田にかけて延長 8.5 km で、秩父累帯の先白亜系の砂岩、頁岩、チャート、緑色岩類等からなり、三疊紀コノドントやジュラ紀放射虫を産出する。	県立自然公園、和歌山県の朝日夕陽 100 選
229	日ノ御崎	D	海岸侵食地形	海食崖	美浜町・日高町	延長 3.1 km で、白亜系の日高川帯美山付加コンプレックスの砂岩、頁岩、砂岩互層等からなる。日ノ山の標高は 201.5 m で、中腹に国民宿舎、灯台がある。	県立自然公園、和歌山県の朝日夕陽 100 選
230	切目崎	D	海岸侵食地形	海食崖	印南町	延長 1.7 km で、昔無川付加シークエンス羽六層上部の粗粒砂岩、砂岩フリッシュ、礫岩等を主とする岩石海岸で、生痕化石を豊富に産出する。	

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
231	見草崎	D	海岸侵食地形	海食崖	白浜町	延長 6.4 km、比高 38 m。田辺層群白浜累層の礫岩、成層砂岩、砂岩泥岩互層からなり、葉理（ラミナ）や海底の谷地形を埋めた堆積構造のチャネル構造が発達する。二枚貝、巻貝、甲殻類、生痕化石等を多産する。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
232	江須崎	D	海岸侵食地形	海食崖	すさみ町	標高 38 m の島が陸繋島になっている。牟婁帯佐本川層の砂岩及び砂岩泥岩互層からなる。崎の付け根の所に弧状岩脈が貫入している。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
233	太地海岸	D	海岸侵食地形	海食崖	太地町	延長 4.7 km、比高 38 m。鷲ノ巣崎周辺は熊野層群敷屋累層の泥岩層、燈明崎、梶取崎周辺は下里累層の砂岩層及び砂質互層からなり、一部泥質互層をはさむ。	吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選、南紀熊野ジオパークジオサイト
234	城ヶ崎海岸	D	海岸侵食地形	海食台	和歌山市	面積 1.1 ha。和泉層群加太累層の砂岩頁岩互層からなり、頁岩部が侵食されて凸凹の洗濯板状をなす。イノセラムスやウニ化石を産出する。	瀬戸内海国立公園
235	番所の崎	D	海岸侵食地形	海食台	白浜町	面積は 4 ha。田辺層群白浜累層の砂岩泥岩層及びその上に不整合で重なる塔島礫岩層からなる。	県立自然公園、吉野熊野国立公園
236	千畳敷	D	海岸侵食地形	海食台	白浜町	瀬戸崎から崎ノ湯にかけて、面積は 2 ha。田辺層群白浜累層の砂岩層、砂質互層、礫岩層からなる。	和歌山県の朝日・夕陽 100 選、県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
237	椿海岸	D	海岸侵食地形	海食台	白浜町	烽火鼻から伊勢ヶ谷にかけて、面積は 4 ha。田辺層群白浜累層の砂質互層及び泥質互層からなる。	県立自然公園、吉野熊野国立公園
238	志原千畳敷	D	海岸侵食地形	海食台	白浜町	志原から市江崎にかけての波食棚、面積は 5 ha。田辺層群白浜累層の砂質互層、泥質互層からなる。海食崖には数個の海食洞が見られる。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選、南紀熊野ジオパークジオサイト
239	和深～二色海岸	D	海岸侵食地形	海食台	串本町	枯木灘海岸の南部にあたり、海食台は断続的に分布。面積は計 160 ha。牟婁帯周参見構造ユニットの田並川層、枯木灘層、熊野層群下里累層からなり、化石を産出する。	県立自然公園、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
240	津荷海岸	D	海岸侵食地形	海食台	串本町	津荷から田原にかけて、面積は 90 ha。熊野層群敷屋累層の砂岩及び砂岩泥岩互層からなる。	吉野熊野国立公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
241	地獄の釜	D	海岸侵食地形	海食洞	串本町	紀伊大島須江地区の流紋岩質火砕岩地帯。上部直径約70 m、深さ約40 mにも及ぶ円錐形のタテ穴が海食洞窟（延長約25 m、幅約5 m、高さ約6 m）でつながる。	吉野熊野国立公園
242	弁天島・お蛇浦	D	海岸侵食地形	海食台	那智勝浦町	面積は3 ha。熊野層群数層累層の砂岩及び砂岩泥岩互層からなる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
243	蟹取島	D	海岸侵食地形	岩礁	美浜町	面積は0.5 ha。最高岩礁高は21.5 m、最大岩礁の面積は3,700 m ² 。美山付加コンプレックスの砂岩頁岩互層からなる。	県立自然公園
244	紀伊大島のタカノ巣礁・舟ゴラ礁	D	海岸侵食地形	岩礁	串本町	紀伊大島の南東部海岸で、面積は4.4 ha、最高岩礁高は29 m。タカノ巣礁は、「海金剛」とも呼ばれる。主に潮岬火成複合岩類の紫蘇輝石流紋岩からなる。	海金剛：町指定（名勝・天然） 吉野熊野国立公園、日本の自然百選、南紀熊野ジオパークジオサイト
245	荒船海岸	D	海岸侵食地形	岩礁	串本町	田原～荒船にかけて面積92 ha、最高岩礁高10 m（池島）、最大岩礁面積500 m ² （鉄島）。熊野層群下里累層の砂岩泥岩互層からなる。	吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、南紀熊野ジオパークジオサイト
246	塔島洞門	D	海岸侵食地形	岩門	白浜町	臨海の西方にあり、橋状、比高16 m、穴径17 m。田辺層群に不整合で重なる塔島礫岩層の砂岩を主とする中～大礫の亜角～亜円礫からなる。	吉野熊野国立公園
247	潮吹岩	D	海岸侵食地形	潮吹岩	美浜町	本の脇にあり、吹上高15 m。日高川帯美山付加コンプレックスの砂岩頁岩互層からなる。	県立自然公園
248	二里ヶ浜	D	海岸堆積地形	砂浜	和歌山市	砂浜で、延長1.1 km、幅125 m。	海岸保全地域
249	塩屋海岸	D	海岸堆積地形	砂浜	御坊市	砂浜で、延長1.9 km、幅160 m。	県立自然公園
250	扇ヶ浜	D	海岸堆積地形	砂浜	田辺市	砂浜で、延長1 km、幅25 m、全体コンクリート護岸。	
251	那智の浜	D	海岸堆積地形	砂浜	那智勝浦町	砂浜で、延長1.2 km、幅80 m。	吉野熊野国立公園、快水浴場百選、和歌山県の朝日・夕陽100選
252	切目浜	D	海岸堆積地形	礫浜	印南町	礫浜で、延長1.3 km、幅170 m。	
253	佐野の浜	D	海岸堆積地形	礫浜	新宮市	礫浜で、延長1 km、幅50 m。	吉野熊野国立公園

地形の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地形項目	地形分類	所在地	概要及び特徴	備考
254	中大浜 (雷田浜)	D	海岸堆積地形	砂浜・礫浜	白浜町	砂浜で、一部礫浜、延長 3.2 km、幅 100 m。	県立自然公園、吉野熊野国立公園
255	日置大浜	D	海岸堆積地形	砂浜・礫浜	白浜町	砂浜で、一部礫浜、延長 2.8 km、幅 120 m。	県立自然公園、吉野熊野国立公園
256	太田川河口	D	海岸堆積地形	砂洲	那智勝浦町	かざ状砂洲で、面積 7 ha、延長 600 m。	
257	黒島	D	海岸堆積地形	陸けい砂洲	すさみ町	陸ノ黒島と沖ノ黒島からなり、陸ノ黒島と海岸の間で夫婦波が陸繋砂洲を形成しつつある。すさみ八景の一つ。	吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選、南紀熊野ジオパークジオサイト
258	臨海海岸	D	海岸堆積地形	陸けい砂洲	白浜町	陸けい島、砂洲面積 2 ha (南北両側計)、延長 0.5 km。陸側は田辺層群白浜累層、番所の崎は白浜累層及びその上に不整合で重なる塔島礫岩層からなる。	吉野熊野国立公園、海岸保全地域、和歌山県の朝日・夕陽 100 選
259	串本海岸	D	海岸堆積地形	陸けい砂洲	串本町	陸けい島、砂洲面積約 40 ha、延長 1.8 km。自然海岸少なく、砂浜も極めて少なくなっている。陸側は熊野層群、潮岬は潮岬火成複合岩類からなる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
260	宇久井の浜 (上地ノ浜)	D	海岸堆積地形	陸けい砂洲	那智勝浦町	陸けい島、砂洲面積 40 ha、延長 1 km。陸側は牟婁帯の田並川層、島側は田並川層及び熊野酸性火成岩類からなる。周辺には鯛島、赤島等多島海をなす。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
261	西浜	D	海岸堆積地形	砂丘	和歌山市	菓種畑から水軒にかけて延長 2.8 km、比高 15 m で、平安時代頃までは二里ヶ浜から続いていたと考えられている。高松から砂山、吹上にも古砂丘が見られる。	
262	鹿島	D	海岸変動地形	島	みなべ町	南部湾にある周囲約 1.5 km の島で、音無川付加シークエンスの羽六層からなる。	県立自然公園、町指定文化財(天然)
263	田辺湾	D	海岸変動地形	多島海	田辺市・白浜町	湾内には元島、丸山、神山、神島、畠島、藤島等の他、岩礁の小島が多数ある。田辺層群朝来累層及び白浜累層の礫岩、砂岩、泥岩等からなる。また、小規模な内湾には干潟が見られ、多様な生物が生息する。	吉野熊野国立公園、県立自然公園

* ポット・ホール：河床に形成された円形の深い穴、甌穴

* マスムーブメント地形：地滑りや土石流等、重力によって山体斜面が移動してできた地形

* コアストーン：風化の過程で形成される未風化の岩塊

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
01	天鳥の褶曲	A	地層・堆積岩	未固結層の 変形	すさみ町	□和深南東方の海岸に発達する、第三紀中期始新世～前期中新世の牟婁付加シークエンス佐本川層中に見られる。砂岩がち砂岩泥岩互層が、未固結時に海底斜面を南東から北西へ二次移動してできた褶曲である。軸部には、碎屑岩岩脈が多数発達する。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
02	橋杭岩	A	火成活動・ 火成岩	岩脈	串本町	第三紀中新世の熊野層群敷屋累層の泥岩層に、北北西一南南東に貫入した流紋岩（石英斑岩）の岩脈である。岩脈を取り巻く敷屋累層の泥岩層が侵食され、更に岩脈も所々で侵食、崩壊したために、あたかも橋脚が並んでいるように露出する。	国指定文化財（名勝・天然）、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、和歌山の親しめる水辺66、南紀熊野ジオパークジオサイト
03	白崎石灰岩	B	地層・堆積岩	オリストリス	由良町	秩父帯ジュラ系の中紀層群大引層に含まれる巨大オリストリス（異地性岩体）の石灰岩体で、古生代ペルム紀後期のフズリナやウミユリ等の化石を多数産出する。小規模な鍾乳洞やカレンフェルド（石灰岩が礫石状に林立した地形）も見られる。岩体の東部ではジュラ紀層がこの石灰岩を不整合に覆う。	県立自然公園、和歌山県の朝日・夕陽100選、日本の渚百選、和歌山の親しめる水辺66
04	サラシ首層	B	地層・堆積岩	含角礫泥岩層	串本町	田子付近の波食台に発達する第三紀後期漸新世～前期中新世の牟婁付加シークエンス枯木灘層の含角礫泥岩層で、名前は侵食による礫の産状に由来する。礫は、径数cm～15mの砂岩、泥岩、礫岩等の角礫で、牟婁付加シークエンスの堆積末期に、同一堆積盆内の下位の地層が崩落して堆積したと考えられている。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
05	鳥屋城山	B	地層・堆積岩	化石	有田川町	中生代後期白亜紀鳥屋城層の砂岩、泥岩等からなり、アンモナイトやイノセラムス等の化石を多産し、古くから研究され、広く知られている。イノセラムスの中には、亜種名に鳥屋城の地名が付けられたものもある。近年、滄竜の骨格化石が発見された。	
06	瀬八丁（瀨峡）	B	変成作用・ 変成岩	変質帯	新宮市	新第三紀中新世中期の花崗岩体からなる大峰酸性岩類の活動によって、熱変質を受けた上部白亜系の日高川帯竜神付加コンプレックスの隆起とともに、北山川の下刻侵食によって形成された峡谷で、特に瀨峡一帯の両岸は、奇岩絶壁をなす。	国指定文化財（特別名勝・天然）、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリ	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
07	潮岬の火成岩	B	火成活動・火成岩	火成岩	申本町	玄武岩溶岩、粗粒玄武岩、斑禿岩、グラノフィアア、石英斑岩、フェルサイト、流紋岩等からなる潮岬火成複合岩類が分布。火成活動を示す絶対年代は15~13 maとされる。紀伊大島の火成岩類や熊野層群との関係等は、更なる調査研究を要する地域である。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
08	古座川の一枚岩	B	火成活動・火成岩	岩脈	古座川町	相瀬の古座川左岸に見られ、第三紀中新世の熊野酸性岩類の活動期に形成された古座川弧状岩脈の一部である。流紋岩質の結晶質凝灰岩及び流紋岩（花崗斑岩）からなる複合岩脈で、放射性絶対年代は、13.8±0.4 maを示す。	県立自然公園、国指定文化財（天然）、和歌山県の朝日・夕陽100選、日本の地質百選、南紀熊野ジオパークジオサイト
09	戒島	B	火成活動・火成岩	岩脈	申本町	枯木瀬弧状岩脈の一部で、牟婁付加シークエンスにはほぼ垂直に貫入した含角礫凝灰岩及び細かい粗粒の凝灰岩からなる。主岩体の中心部では流理構造が認められる。副岩体の含角礫凝灰岩には泥岩、砂岩泥岩互層のクラストが含まれる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
10	名南風鼻	B	地質構造	火成岩・変成岩・堆積岩	広川町	火成岩類や変成岩類、蛇紋岩、非変成ないし弱変成の凝灰岩等からなる黒瀬川古岩体が、中生代白亜系の中にレンズ状に分布する。この火成岩に捕獲された石灰岩中からシルル紀のフサリサンゴの化石等、凝灰岩からシルル紀の放射虫化石が発見されている。	県立自然公園、和歌山県の朝日・夕陽100選
11	市江崎の含礫泥岩ダイアピル	B	地質構造	泥ダイアピル	白浜町	市江崎に見られ、田辺層群白浜累層中の砂岩泥岩互層中に貫入するドーム状の碎屑性貫入岩体で、150~160mの楕円状の水平断面をもつ。朝来累層の未固結泥が上昇したもので、紀南地方では大規模なものである。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
12	田の崎	B	地質構造	不整合	申本町	岬の南端部で、熊野層群下里累層が牟婁付加シークエンスの田並川層を傾斜不整合で覆っている。不整合面上位に薄く不整合礫層が重なる。田の崎の東側では、断層で不整合面がずれている。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
13	白浜温泉	B	温泉・湧水	温泉	白浜町	日本最古の温泉のひとつで、枯木瀬弧状岩脈・ダイアピル（地下の物質が上昇してできた地質構造）群上に位置し、炭酸水素ナトリウムを主要成分とする高温泉である。掘削井の増加と動力による過剰揚湯のため、近年は一部で海水の進入による食塩泉化が見られる。なお、南西方には権温泉が分布する。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト、日本百名湯湯崎半島；温泉保護地域指定 崎の湯：町指定文化財（史跡）

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
14	川湯・湯の峰・渡瀬温泉	B	温泉・湧水	温泉	田辺市本宮町	いずれも第三紀始新世の音無川付加シークエンスに貫入した流紋岩(石英斑岩)岩脈に伴って湧出する高温泉。泉質は、いずれも重曹泉であり、湧出量が豊富。湯の峰温泉は、多くの硫化水素を含む。湯の峰及び川湯温泉は、自然湧出である。	吉野熊野国立公園 湯の峰：日本百名湯 川湯温泉：和歌山の親しめる水 辺 66
15	勝浦温泉	B	温泉・湧水	温泉	那智勝浦町	主に熊野層群敷屋累層から湧出する温泉で、200 を超える源泉がある。狼煙山から夏山にかけての背斜に沿って高温泉が分布する。炭酸水素及びナトリウムイオンを主要成分とするものが多い。陰イオンの組成から、食塩泉タイプ及び重曹泉タイプとがある。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト、日本百名湯
16	龍神温泉	B	温泉・湧水	温泉	田辺市龍神村	泉温は 42~49 ℃、泉質は、ナトリウム、カリウム、炭酸水素の各イオンを主成分とする重曹泉で、源泉はボーリング泉及び自然湧出である。日高川帯の竜神付加コンプレックスから湧出し、火成岩岩脈は見られないが、本宮-阿田和弧状岩脈の延長線上に位置する。	高野龍神国定公園、日本百名湯
17	蟻蝮岩(ひき岩群)	C	地層・堆積岩	砂岩・泥岩互層	田辺市	第三紀中新世の田辺層群に見られる侵食地形である。北西-南東の走向、南傾斜の砂岩泥岩互層が、その硬軟の差による侵食を受け、東西方向から見ると鋸歯状の地形が形成された。砂岩層の形が天空を仰ぐカエルの姿に似ているところもある。	県指定文化財(名勝)、吉野熊野国立公園、和歌山県の朝日・夕陽 100 選
18	天皇山から白木の海岸	C	地層・堆積岩	堆積構造・化石	広川町	天皇山は黒瀬川構造帯の火成岩類や変成岩類、白木にかけては中生代前期白亜紀の湯浅層、西広層からなる。湯浅層は典型的なファン・デルタ堆積物(扇状地ないし三角州成堆積物)、西広層はアルコーズ砂岩(石英、長石からなる砂岩)を特色とする。最近、湯浅層から肉食恐竜(獣脚類)の歯の化石が発見されている。	県立自然公園
19	丸山	C	地層・堆積岩	生痕化石	印南町	音無川付加シークエンス瓜谷層及び羽六層下部層の泥岩、砂岩泥岩互層からなり、これらの地層は本付加シークエンスの鍵層をなす。本層中に典型的なフリッシュ型生痕化石群集が見られ、学術的な研究価値が高い。	県立自然公園
20	栗栖川亀甲石包含層	C	地層・堆積岩	生痕化石	田辺市中辺路町	北郡に見られる、クイアルキアト群集を構成する生痕化石の一種で、 <i>Palaeodyction</i> (属名)と命名されている。古第三系牟婁付加シークエンス西谷層の砂質フリッシュの砂岩層裏面に観察される。音無川帯の羽六層中からも、同様の群集が発見される。	県指定文化財(天然)

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリ	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
21	浮島	C	地層・堆積岩	泥炭層	新宮市	熊野川河口に形成された沖積平野に見られる。縄文海進後の海退に伴って形成された沼沢・湿地帯にできた泥炭層からなる。上位の泥炭層(層厚30~57cm)と粘土層を挟在する下位の泥炭層との間には、8cm程度の水層があり、前者が浮遊した状態にある。	国指定文化財(天然)、吉野熊野国立公園、和歌山の親しめる水辺66、南紀熊野ジオパークジオサイト
22	泥岩岩脈	C	地質構造	砕屑岩脈	田辺市	烏ノ巣半島に見られる、第三紀中新世の田辺層群白浜累層中に下位の朝来累層の未固結の泥が、周りの砂岩を角礫として取り込みながら貫入してできたもので、その形成は、熊野酸性岩類の活動による弧状岩脈と深く関わっていると考えられる。	国指定文化財(天然)、吉野熊野国立公園、県立自然公園、和歌山県の朝日・夕陽100選
23	白浜の泥岩岩脈	C	地質構造	砕屑岩脈	白浜町	権現崎に見られ、第三紀中新世の田辺層群白浜累層中に下位の朝来累層をなす未固結の泥が、周りの砂岩を角礫として取り込みながら貫入してできたもので、その形成は、熊野酸性岩類の活動による弧状岩脈と深く関わっていると考えられる。	国指定文化財(天然)、吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
24	弁天島・お蛇浦	C	地質構造	泥グアイアピル	那智勝浦町	弁天島は波食棚に囲まれた海食残丘の島で、波食棚には泥グアイアピルが露出。岩体は砂岩や泥岩、稀に石灰岩の角礫を含む。また、高角度の流理面やロート状の流理構造が見られる。お蛇浦では東西性の砂岩岩脈が見られ、海食崖は熱水で硬化している。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
25	小松の不整合	C	地質構造	不整合	北山村	日高川帯竜神付加コンプレックスを熊野層群大沼累層が傾斜不整合で覆っている。大沼累層からは巻き貝化石が産出する。不整合の見られる河床には罅穴(ポットホール)が形成されている。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
26	根来断層	C	地質構造	活断層	岩出市	根来菩提峠付近に見られる中央構造線系の活断層で、更新世中期から右横ずれの活動が始まったと考えられている。水平方向の変位速度は、0.9~3.1m/千年と推定されている。断層沿いに、明瞭な変位地形が発達している。	
27	勝負山・白山山	C	地質構造	断層	有田川町	田口~船坂にかけて、ほぼ東西にのびる有田川構造線沿いに見られる断層変位地形である。尾峰山脈の各尾根が構造線に直交、その交差部分が侵食を受けて窪みになったケルンコルと、尾根の先端部が高まりになったケルンハットが形成されている。	

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
28	榎野崎	C	火成作用・火成岩	火砕岩	串本町	我が国初の洋式石造り灯台の下には、流紋岩（花崗斑岩）及び角礫泥岩や曲角礫の花崗斑岩を含む火砕岩が露出する。角礫泥岩を含むことから、火砕流が熊野層群の泥岩を削りながら取り込んだと考えられる。火砕流は北東からの流れを示している。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
29	嶽ノ森山	C	火成岩・火成活動	岩脈	古座川町	雄岳（376 m）と雌岳の双耳峰で、古座川弧状岩脈の一部、流紋岩（花崗斑岩）及び流紋岩質火砕岩からなり、一枚岩とは古座川を挟んで一体のもの。西側の沢には流紋岩質火砕岩が侵食されたナメトコ岩がある。雌岳の頂上部は柱状節理の模様が人の横顔に似るところから、嶽の巨人とも呼ばれる。豆腐岩も柱状節理である。	南紀熊野ジオパークジオサイト
30	戸津井の鍾乳洞	D	地層・堆積岩	風化・侵食作用	由良町	中紀層群大引層立嶽部層に含まれるオリストリス（異地性岩体）のペルム紀石灰岩体に形成された県内最大の鍾乳洞で、東北東へ約40 m延びる。	県立自然公園
31	保呂の虫喰い岩	D	地層・堆積岩	風化・侵食作用	白浜町	田辺層群白浜累層の厚層砂岩～砂質互層からなり、本層に挟在する礫岩部に発達する。1～10×20 cm程度の楕円ないし円形の半球形をなし、上部の砂岩層では直径1 m程度の虫喰い風化が見られる。	県指定文化財（天然）、南紀熊野ジオパークジオサイト
32	白浜の化石連痕	D	地層・堆積岩	堆積構造	白浜町	江津良海岸の海食台で見られる、田辺層群白浜累層の砂岩泥岩互層の砂質部上面に発達する波浪リップル・葉理であるが、風化と侵食が進んでいる。	国指定文化財（天然）、吉野熊野国立公園
33	赤滑の連痕	D	地層・堆積岩	堆積構造	田辺市	牟婁付加シークエンス打越層の泥質フリッシュ（海底の混濁流による堆積物）が大規模に露出し、その砂質部上面に発達するリップルマーク（連痕）である。	県指定文化財（天然）
34	御所本の化石連痕（連痕岩）	D	地層・堆積岩	堆積構造	新宮市熊野川町	熊野層群小口累層最上部の砂岩泥岩互層の砂岩層上面に発達する波浪リップル・葉理で、さざ波状の模様をなす。	県指定文化財（天然）、南紀熊野ジオパークジオサイト
35	谷口の石炭層	D	地層・堆積岩	石炭層	新宮市熊野川町	熊野炭田の一つ三熊炭鉱と同じ位置の石炭層（層厚20 cm 土）。熊野層群三津野累層中に挟在する。石炭層は、暗灰色ないし黒色の泥岩層に挟まれて2層あり、泥岩層は厚い砂岩層に挟まれる。	南紀熊野ジオパークジオサイト
36	大倉岩	D	地層・堆積岩	砂岩	田辺市本宮町	皆地の南西方、四村川沿いにある、比高60 m、延長120 mの断崖・岩壁で、牟婁付加シークエンスの安川層からなる。	

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリ	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
37	餘倉岩	D	地層・堆積岩	砂岩	田辺市本宮町	大塔川支流黒蔵谷下流にある、比高及び幅がそれぞれ100 m 余りの砂岩の岩壁で、牟婁付加シークエンスの合川層からなる。	
38	茶臼山の天狗巖	D	地層・堆積岩	砂岩	北山村	比高 80 m、延長 50 m の断崖・絶壁で、中新世の熊野層群大沼累層からなる。	
39	オトノリ	D	地層・堆積岩	付加体	北山村	筏流しの役は、次男が担ったところから名付けられた地名。右岸は日高川帯竜神付加コンプレックスの地層からなり、砂岩、泥岩に混在して緑色岩類も見られる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
40	不動山の巨石 (不動岩)	D	地層・堆積岩	礫岩	橋本市	杉尾にあり、和泉層群北縁相にあたる滝畑互層の礫岩層の巨大転石で、直径 20 cm 程の礫が抜けた穴から、紀の川の流れの音が聞こえるという。	金剛生駒紀泉国定公園、日本の音風景 100 選
41	御衣干岩	D	地層・堆積岩	砂岩	高野町	幅 3 m、高さ 1.5 m、厚さ 1.5 m 程度の砂岩の巨転石からなる。日高川帯花園付加コンプレックスの岩石。弘法大師にまつわる伝説がある。	
42	粟生の巖	D	地層・堆積岩	砂岩	有田川町	有田川支流太田谷川河口にあり、ローモンタイト(濁沸石)脈の発達する日高川帯湯川付加コンプレックスの厚層砂岩からなる。地域のランドマーク的存在。	
43	乳岩	D	地層・堆積岩	砂岩	田辺市中辺路町	牟婁付加シークエンス合川層の礫岩ないし塊状極粗粒砂岩からなる長さ 15 m、幅 5 m、厚さ 5 m 程度の岩屋の下に、粗粒砂岩からなる地蔵尊が祀られている。藤原秀衡の伝説がある。	市指定文化財(天然)
44	円座石	D	地層・堆積岩	砂岩	新宮市熊野川町	平行葉理の発達した粗粒砂岩の転石で、幅 5 m、長さ 8 m、厚さ 2.5 m 程度、熊野層群三津野累層のものである。円座は、礫等を渦巻き状に平たく編んだ敷物の意。	南紀熊野ジオパークジオサイト
45	孔島・鈴島	D	地層・堆積岩	不整合	新宮市	孔島の南端に広がる波食棚に、牟婁付加シークエンス田並川層と熊野層群小口累層との不整合が見られる。鈴島は、平行やコンポリュートラミナの発達する砂岩優勢互層からなり、貫通した小規模な海食洞が見られる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
46	門前の大岩	D	地層・堆積岩	石灰岩	由良町	門前にあり、中紀層群由良層の泥岩優勢層中に挟まれたジュラ紀の鳥巢式石灰岩で、シダリスやサンゴ、層孔虫の化石が豊富に含まれる。	国指定文化財(天然)

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
47	押分岩	D	地層・堆積岩	砂岩礫岩互層	田辺市	秋葉神社にあり、田辺層群の砂岩礫岩互層からなる幅5 m、長さ20 m、高さ10 mの2つのブロックが1.5~2 mの間隙を作り、そこが参道になっている。	市指定文化財 (天然)
48	オン崎	D	地質構造	付加体 スラスト	すさみ町	牟婁付加シークエンス打越層と小節川層を画する松根一平井スラストが露出する。付加体が形成される典型的な低角の逆断層である。北西側には枯木灘弧状岩脈の一部も露出する。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
49	伴待瀬海岸	D	堆積構造	泥ダイアピル	太地町	伴待瀬の海岸には泥ダイアピルからなる波食棚が広がる。岩体は角礫岩を主とし、泥岩角礫から牟婁付加シークエンスと同じ放射状化石が発見されている。泥ダイアピルの形成時期は、熊野層群の褶曲時期と考えられている。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
50	笠石	D	変成作用・ 変成岩	石英片岩	紀美野町・有田川町	生石山の頂上近くにある石英片岩の岩塊で、比高9 m、延長38 m。付近一帯は、三波川変成帯の生石層からなる。	県立自然公園
51	狼岩	D	変成作用・ 変成岩	石英片岩	紀美野町	下底部の長さ8 m、幅4 m、高さ6 m程度の石英片岩の巨転石で、狼にまつわる伝説がある。	県立自然公園
52	押し上げ岩	D	変成作用・ 変成岩	砂質片岩	紀美野町	幅4.5 m、高さ2 m、厚さ1.5 m程度の砂質片岩の巨転石で、弘法大師にまつわる伝説がある。	
53	夫婦岩 (立巖)	D	変成作用・ 変成岩	石英片岩	海南市下津町	立神神社本殿北側に、高さ約15 m、幅5~8 mの岩柱が10 m間隔で2本そびえ、その間にツツジが生い茂る。泥質片岩薄層を多数挟む石英片岩からなる。	市指定文化財 (名勝)
54	重ね岩	D	変成作用・ 変成岩	塩基性片岩	紀の川市桃山町	段にあり、約4x2 mの菱形で高さ約2 m。珪質片岩の薄層をほざむ点紋塩基性片岩。厚さ約1 mの同質岩がその上に重なる。道路幅で一部が削られている。	
55	龍門山の磁石岩	D	火成作用・ 火成岩	超塩基性岩	紀の川市	標高約700 mの稜線にあり、三波川変成帯飯盛ユニットの飯盛向斜軸付近に分布する超塩基性岩類で、一部蛇紋岩化している。周囲約17 m、高さ約4 m。	県指定文化財 (天然)、県立自然公園
56	須江崎	D	火成作用・ 火成岩	火砕岩	串本町	紀伊大島には、主に流紋岩質火砕岩及び流紋岩が分布する。須江崎周辺は、水中火砕流で堆積した、成層した流紋岩質火砕岩や凝灰岩、それを覆う流紋岩からなる。火砕岩の一部では、熱水の洞で晶出した瑪瑙が見られる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリ	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
57	高池の虫喰岩	D	火成作用・火成岩	貫入岩	古座川町	黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部で、凝灰岩の部分が風化作用を受けて蜂の巣状になったものである。	国指定文化財(天然)、南紀熊野ジオパークジオサイト
58	牡丹岩	D	火成作用・火成岩	貫入岩	古座川町	月野瀬の西にあり、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈が風化作用を受けて蜂の巣状になったものである。	県立自然公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
59	浦神の虫喰岩	D	火成作用・火成岩	貫入岩	那智勝浦町	黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈が風化作用を受けて蜂の巣状になったものである。	吉野熊野国立公園、町指定文化財(天然)
60	天柱岩(薬研岩)	D	火成作用・火成岩	貫入岩	古座川町	平田の南にあり、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が侵食されて岩柱状になったものである。	県立自然公園
61	飯盛岩(玉筍峯)	D	火成作用・火成岩	貫入岩	古座川町	立合の北にあり、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が侵食されて岩柱状になったものである。	県立自然公園
62	少女峰	D	火成作用・火成岩	貫入岩	古座川町	月野瀬の南にあり、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が侵食されて岩峰状になったものである。	県立自然公園
63	侍岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩	那智勝浦町	比高40m、延長60mで、洞穴あり。ザクロ石・黒雲母花崗斑岩からなる熊野酸性火成岩類の一部である。	
64	宇久井半島の取	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩・柱状節理	那智勝浦町	宇久井半島は、牟婁付加シークエンスの田並川層中に熊野酸性火成岩類の流紋岩(花崗斑岩)が貫入した岬で、外の取では火成岩の柱状節理が発達する。マグマの冷却固結に伴う均質な張力によって、4~6角形の亀裂(節理)が生じたもので、マグマの貫入面が傾斜していたため、節理が海側に傾斜している。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
65	大狗子半島	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩・泥岩	那智勝浦町	熊野酸性火成岩類の流紋岩(花崗斑岩)からなる。この岩体は、ラコリス岩体と考えられている。貫入時に取り込まれた泥岩が含まれる部分や流理構造も見られる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
66	坊主岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩	那智勝浦町	峰山中腹に見られる、第三紀中期中新世の熊野酸性火成岩類が侵食作用を受けてできたドーム状の岩塊で、延長150m、比高60mである。	

地質の選定結果一覧表

整理番号	名称	カテゴリー	地質項目	地質分類	所在地	概要及び特徴	備考
67	猪岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩	新宮市熊野川町	田長付近にある、比高 160 m、延長 250 m の断崖・絶壁で、熊野酸性火成岩類の流紋岩（花崗斑岩）からなる。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
68	棕呂の火成岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩・柱状節理	新宮市熊野川町	熊野酸性火成岩類と同時期に活動した大峰酸性岩類（花崗岩類）が、熊野層群小口累層中にシート状に貫入し、山腹に緩く傾斜して露出する。マグマの冷却時の収縮による柱状節理が発達する。	吉野熊野国立公園、南紀熊野ジオパークジオサイト
69	高田峡一枚岩	D	火成作用・火成岩	流紋岩	新宮市	西高田の西、標高 200 m 付近にあり、比高 40 m、延長 2.2 km の断崖・絶壁で、熊野酸性火成岩類の黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩等からなる。	吉野熊野国立公園
70	大越の一枚岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩	新宮市	熊野川支流高田川支谷大越谷の谷口にあり、熊野酸性火成岩類の流紋岩類からなる一枚岩。	
71	釣鐘岩	D	火成作用・火成岩	花崗斑岩	新宮市	熊野川の河岸の岩壁に見られ、熊野酸性火成岩類の流紋岩（花崗斑岩）からなる。名称は、その形状に由来する。	吉野熊野国立公園
72	清水鉾山跡	D	鉾床	裂か充填鉾床	上富田町	市ノ瀬にあり、牟婁付加シークエンス打越層上部の砂岩優勢互層中に胚胎した裂か充填鉾床で、方鉛鉱、閃亜鉛鉱、方解石脈に磁硫鉄鉱、黄鉄鉱、黄銅鉱等を伴っている。	町指定文化財（史跡）

* オリストリス：堆積物中に含まれる異地性の岩体

* ケスタ：地層が緩やかな同斜構造をなす地形

* 泥ダイアピル：地下の泥が高間隙水圧で割れ目に沿って上昇する現象

* 付加体スラスト：付加体の形成に伴う低角の逆断層

- 荒巻重雄・羽田忍. 1965. 熊野酸性火成岩類の中部および南部の地質. 地質学雑誌, 71: 494-512.
- 地質調査所. 1994. 構造図 9 中央構造線活断層系 (近畿地方) ストリップマップ.
- 原田哲朗. 1974. 紀伊半島の生いたち. 吉野熊野国立公園学術踏査報告. 日本自然保護協会 関西支部資料, No.5: 27-34.
- 原田哲朗. 1980. 和歌山県の温泉の湧出機構について 白浜町編. 第1回温泉講演会集, 3-31.
- 原田哲朗代表編著. 1988. 紀の国石ころ散歩. 236pp. 宇治書店, 和歌山.
- 原田哲朗. 1997. 私たちのふるさと本宮 その生い立ちと地下資源. 123pp. 本宮.
- はてなし団体研究グループ. 1980. 紀伊半島四万十累帯, 音無川帯の研究—層序と構造の総括—. 和歌山大学教育学部紀要 自然科学, 29: 33-70.
- 廣田善夫. 1991. 紀伊半島西部の三波川変成帯の地質. Mem. Fac. Sci. Shimane Univ., 25: 131-142.
- 久富邦彦. 1981. 紀伊半島南東部の熊野層群の地質と堆積. 地質学雑誌, 87 (3): 157-174.
- 久富邦彦・三宅康幸. 1981. 紀伊半島・潮岬地域の隆起運動と火成活動. 地質学雑誌, 87 (10): 629-639.
- 石川憲一. 1997. 紀伊半島西部龍門山地域の三波川変成帯. Mem. Fac. Sci. Eng. Shimane Univ. Series A, 31: 201-216.
- 環境庁. 1989. 第3回自然環境保全基礎調査自然景観資源調査報告書 (和歌山県). 166pp. 和歌山.
- 柏木健司・八尾昭. 1997. 紀伊半島西部黒瀬川帯の名南風鼻とバベ鼻レンズ状部の地質関係. 大阪微化石研究会誌, 特別号 10: 47-53.
- 紀州四万十帯団体研究グループ. 2006. 和歌山県中西部の日高川帯の地質—紀伊半島四万十累帯の研究 (その 13) —. 地球科学, 60 (5): 355-374.
- 紀州四万十帯団体研究グループ. 2011. 紀伊半島, 中新統熊野層群の泥ダイヤピル, 特に前弧海盆南縁の巨大分岐断層群との関係について—紀伊半島四万十累帯の研究 (その 15) —. 地球科学, 65 (1): 1-16.
- 紀州四万十帯団体研究グループ編著. 2012. 紀伊半島における四万十付加体研究の新展開. 地団研専報, 59pp. 地学団体研究会.
- 小坂橋淳. 2001. 紀州の滝 340. 287pp, 紀伊民報, 田辺.
- 小泉武栄・青木賢人. 2000. 日本の地形レッドデータブック 第1集—危機にある地形—. 210pp, 古今書院, 東京.
- 公文富士夫. 1985. 紀伊半島の四万十帯研究の現段階と課題. 地球科学, 39 (1): 57-75.
- 栗本史雄. 1986. 和歌山県美里地域の毛原層—三波川帯と秩父累帯の境界に関連して—. 地質調査月報, 37 (7): 381-389.
- 栗本史雄. 1986. 和歌山県清水—美里地域の秩父累帯北帯. 地質学雑誌, 92 (10): 737-748.
- 前李英明・坪野賢一郎. 1990. 紀伊半島南部の完新世地殻変動. 地学雑誌, 99 (4): 43-46.
- Miura D. 1999. Arcuate pyroclastic conduits, ring faults, and coherent floor at Kumano caldera, southwest Honshu, Japan. Jour. Volcanol. Geotherm. Res., 92: 271-294.
- 三浦大助・和田稷隆. 2007. 西南日本弧前縁の圧縮テクトニクスと中期中新世カルデラ火山. 地質学雑誌, 113 (7): 283-295.
- 三宅康幸. 1981. 和歌山県潮岬火成複合岩体の地質と岩石. 地質学雑誌, 87 (6): 383-403.
- 宮田隆夫・牧本博・寒川旭・市川浩一郎. 1993. 地域地質研究報告 5 万分の 1 地質図幅 和歌山及び尾崎地域の地質. 68pp. 地質調査所.
- 中屋志津男. 2006. 紀伊半島四万十帯奇絶峡地域の古第三系音無川付加体の屈曲構造. 地球科学,

60 (2) : 113-129.

中屋志津男・浜田好弘. 2009. 紀伊半島南部の下部中新統田辺層群の古期泥火山. 地学雑誌, 118 (3) : 472-491.

中屋志津男. 2011. 2011 年台風 12 号の降雨による田辺市の大規模斜面崩壊と崩土. 関西地盤環境センター センターニュース, 11 月号 : 11-20.

中屋志津男・鈴木博之 ほか. 2013. 2011 年台風第 12 号による紀伊半島南部の斜面崩壊の地形・地質特性. 日本地質学会第 120 年学術大会講演要旨.

中沢圭二代表研究者. 1984. DESK 総研報告 近畿地方を中心とする後期古生代～古第三紀の堆積盆の変遷. 127pp.

日本地質学会編. 2009. 日本地方地質誌 5 近畿地方. 453pp. 朝倉書店, 東京.

日本の地質「近畿地方」編集委員会編. 1987. 日本の地質 6 近畿地方. 297pp. 共立出版, 東京.

日本の地質増補版編集委員会編. 2005. 日本の地質 増補版. 371pp. 共立出版, 東京.

太田陽子 ほか編. 2004. 日本の地形 6 近畿・中国・四国. 383pp. 東京大学出版会, 東京.

清水博行. 1985. 紀伊半島田辺層群中の含礫泥岩ダイアピル. 地質学雑誌, 91 (10) : 691-697.

新エネルギー・産業技術総合開発機構. 1994. 地熱開発促進調査データ処理報告書. No.37 本宮地域 (2 次).

新宮山の会編. 1987. 増補改訂 南紀の山と谷. 278pp. 新宮山の会, 新宮.

鈴木博之・原田哲朗・石上知良 ほか. 1979. 地域地質研究報告 5 万分の 1 図幅 栗栖川地域の地質. 54pp. 地質調査所.

Shinjoe H., Y. Orihashi and R. Anma. 2019. U-Pb ages of near-trench granitic rocks of the Southwest Japan arc : implication for magmatism related to hot subduction. Geol. Mag., 158 (1) : 47-71.

高市志友 ほか. 1996. 紀伊國名所図會 熊野篇. 版本地誌大系 9. 臨川書店, 京都.

立石雅昭・別所孝範・原田哲朗 ほか. 1979. 地域地質研究報告 5 万分の 1 図幅 江住地域の地質. 65pp. 地質調査所.

田辺団体研究グループ. 1984. 紀伊半島田辺層群の層序と構造. 地球科学, 38 (4) : 249-263.

田辺団体研究グループ. 1993. 下三栖ファンデルタ堆積相と堆積環境－田辺層群朝来累層の研究 (その 2) －. 地球科学, 47 (1) : 1-16.

徳岡隆夫・原田哲朗 ほか. 1981. 地域地質研究報告 5 万分の 1 図幅 龍神地域の地質. 69pp. 地質調査所.

和歌山県教育委員会. 2007. 和歌山県文化財ガイドブック. 197pp. 和歌山県教育委員会, 和歌山.

Yao A. 1984. Subdivision of Mesozoic Complex in Kii-Yura Area, Southwest Japan and Its Bearing on the Mesozoic Basin Development in the Southern Chichibu Terrane. Jour. Geosci. Osaka City Univ., 27 (2) : 41-103.

吉倉紳一・吉田勝. 1979. 紀伊半島西部の黒瀬川構造帯. 加納博教授記念論文集, 319-340.

米倉伸之. 1968. 紀伊半島南部の海岸段丘と地殻変動. 地学雑誌, 77 (1) : 1-23.

吉松敏隆・中屋志津男 ほか. 1999. 特集－紀伊半島の地質と温泉. アーバンクボタ第 38 号. 56pp. クボタ, 大阪.

吉松敏隆. 2015. ネイチャーランド田辺. 田辺市文化財, 51 : 1-18.

吉松敏隆. 2018. 和歌山県の小森地形 (環流丘陵). 紀南・地名と風土研究会会報, 58 : 3-8.